

子どもが創る・子どもと創る - 多様な学びと社会を実現する -

特定非営利活動法人東京シューレ

2023年度(第25期)

活動報告書

(決算書・貸借対照表)

特定非営利活動法人東京シューレ

東京都北区岸町1-9-19 コーエイビル 〒114-0021

TEL03(5993)3135 FAX03(5993)3137 E-mail : info@shure.or.jp URL : <https://www.shure.or.jp>

もくじ

2023 年度（第 25 期）事業報告及び決算.....	2
■1. 2023 年度基本方針・重点目標をふり返る	2
■2. 重点目標における活動.....	2
■3. 事業の概要	6
■4. フリースクール等の事業について	6
■5. ホームエデュケーションネットワーク運営事業について.....	12
■6. 高校コース	13
■7. 公民連携事業 世田谷区教育支援センターほっとスクール「希望丘」運営委託.....	13
■8. その他の活動について.....	14
■9. 東京シューレ奨学基金および会費の減免支援	15
■10. 収益事業（認可保育所貸付事業）	15
■11. 団体の組織・運営に関する報告	15
■12. 決算に関する報告	23
2024 年度（第 26 期）の重点目標と基本計画	32

2023 年度（第 25 期）事業報告及び決算

■ 1. 2023 年度基本方針・重点目標をふり返る

私たちは、2023 年 6 月の通常総会において下記の重点目標（テーマ）を設定して取組みを進めるとともに、夏以降、拠点再編と 2024 年度事業計画の策定について、役員・保護者・スタッフ・子ども会員参加で話し合いを重ね、12 月に臨時総会を開催し拠点統廃合を伴う大きな決定をいたしました。

重点目標（2023 年度の再掲）
〔重点目標 1〕子どもの多様なニーズに対応できる居場所・学び場づくりを推進し、発展させる
〔重点目標 2〕厳しい財政状況を直視し、組織と活動を存続させるための短期・中長期の計画策定と取組を進める
〔重点目標 3〕東京シュレ性暴力加害事件に関して、被害を受けた元会員の方との意思疎通をしながら、必要な取組を行う
〔重点目標 4〕公民連携・中間支援組織との連携を軸に、不登校に対するネガティブな社会価値観を変えていくと共に、学校外の学び・学び場の制度整備を促進する
拠点再編と 2024 年度事業計画の策定
フリースクール 4 拠点を王子と大田の 2 拠点へ統合、ホームシュレ事業は休止

上記を踏まえて、下記事業と活動をご報告いたします。

■ 2. 重点目標における活動

（1）「子ども中心・子どもの参画・子どもの権利の学びを深めていく」

1) 子どもミーティング

全スペースとも週 1 回のミーティングを中心に日常の居場所づくりと活動に取り組みました。また、各スペースでの行事やイベントでは実行委員会がつくられ、企画・実行しました。（各スペースの報告参照）

2) 合同イベント・合同実行委員会

下記の合同イベントが開催され、合同実行委員会や打ち合わせによって企画実行しました。

① 文化祭

9 月から 4 スペース合同の実行委員会がオンライン中心でスタートし、11 月 23 日（木・祝）に新宿スペースにて開催、現役会員・保護者・スタッフ・外部講師や実習生など 124 名が参加・来場しました。全体企画として、スマブラ大会（新宿シュレ企画）、THE ラスベガス（流山シュレ発案による全体企画）で盛り上がったほか、各スペースから、飲食・ハンドメイド小物・アクセサリー・自作 T シャツ・タロットなど、合計 8 店舗の出店と 2 つの展示が行われました。なお、THE ラスベガス企画については、その内容と企画運営の問題について、後日、人事・コンプライアンス委員会から指摘を受け、調査が行われました。（人事・コンプライアンス委員会の活動報告を参照）

② 音楽祭

文化祭に続いて、9 月から 4 スペース合同で実行委員会がスタートし、12 月 13 日（木）に北区北とびあつつじホールにて開催。参加者 107 名。4 スペース合同で実行委員会を重ねて、当日はバンド演奏、ピアノやギターを使った生演奏と歌唱、ダンス、映像作品などをそれぞれ披露し、多彩なステージになりました。

③ スポーツ交流

1 月 18 日（木） 北区赤羽体育館にて開催 参加者 51 名 協力：S.C.P.Japan
オープニングでスポーツと性・多様性についてのお話（S.C.P.Japan さんによるワークショップ）、ドッチボール、バスケットボール、バドミントン、卓球のほか、フロアホッケーフットサル、T ボールなどのバリアフリー種目も体験しました。S.C.P.Japan スタッフの元女子サッカー選手 4 人、デフサッカー選手とのフットサルエキシビジョンマッチも実

現して盛り上がりました。

④ 旅立ち祭

3月21日(木) 北区北とびあつつじホールにて開催 参加者 171名

4スペースで実行委員会を行い準備しました。当日のステージでは、合唱、バンドや歌と映像のコラボ、ダンス、映像の発表がありました。旅立ち式では、4スペースから旅立つ人が舞台上がり、一人ひとりがシュールでの思いや思い出を話すという場面もありました。4スペースが集まる最後の旅立ち祭ということで参加者も多く、賑やかに旅立ちをお祝いすることができました。

3) 性の学び

- 定期的な、性・人権・性暴力予防等の学びやワークショップを実施しました。7月4日、10月9日、2月22日に助産師の鶴岡利江子さんを講師に「生と性の健康講座」3回(のべ85人参加)、1月18日スポーツ交流会時に一般社団法人S.C.P. Japan 様ご協力の下「スポーツから多様性・ジェンダー学ぶ」企画(51人参加)、1月16日にS.C.P. Japan スタッフの話を聞く「シリーズ人間」(オンライン、全スペース)、Femtech Tokyo (フェムテック・トーキョー:女性の健康上の課題を解決するフェムテック・フェムケア企業が出展する展示会)への見学および事後学習(のべ11人参加)を行いました。
- 2月6日に一般社団法人J-CAPTAによる「スタッフ向けCAPワークショップ」を実施し、31人が参加しました。
- 各拠点のスタッフから構成される「性について学ぶ会(性部会)」で、学期に1回会合をもち、各拠点の取り組みを共有し、学び合いました。また、10月9日に助産師を講師に、現場から出た課題をトピックに学び深めるスタッフ研修を実施し、15人が参加しました。

4) 東京シュール運営においての子ども参加

今年度から、NPO 総会へのオブザーバー子ども参加を呼びかけ数名の参加がありました。

また、拠点再編と2024年度事業計画の変更に関する検討においては、9月~12月にかけて、子どもミーティング、役員・保護者・スタッフ・子ども参加のオンライン意見交換会(10月18日、11月12日開催)、子ども・会員アンケート(2回実施)を重ね、子ども・保護者の意見を反映して、臨時総会に臨みました。

(2) 性暴力加害事件と再発防止の取組

1) 人権委員会の提言・助言にもとづく体制の整備

理事会は、人権委員会(23年7月11日開催)からの提案にもとづき、①理事会と同委員会の連絡会(7月21日、10月30日、3月11日、3月20日※3月は履行と再発防止委員会からの提起による)の開催、②人権委員会の役割と業務の明確化(10月8日理事会において、同委員会規程の改定および「履行と再発防止委員会」の設置決定)を行い、③履行と再発防止委員会を軸とした和解条項の履行と再発防止施策を推進する体制を整備しました。

2) 人権委員会の役割と業務の明確化

人権委員会の提案にもとづく同委員会規程の改定により、理事会への助言・提言、和解条項の履行および再発防止・人権侵害防止施策の提案と実施状況の検証、事案における第三者調査検証委員会の設置の提案等を行う等の役割とし、より第三者性を高めることとしました。

3) 履行と再発防止委員会の設置と発足

履行と再発防止委員会は、2023年10月に人権委員会より「和解条項に基づく実務を担う別の組織が必要である」との指摘を受けて、同月の理事会にて設置に着手。12月からの4回に渡る準備会を踏まえ、1月30日の理事会で規程を承認し、代表理事2名とスタッフ2名(内1名は事務局兼務)の構成で組織されました。委員会の設置により、代表理事の下にあった事件裁判対応チームおよび内部総括チームの体制を変えて、同委員会が継承して推進することとしました。

4) 日常活動における取組と履行と再発防止委員会による推進

① 事件と再発防止施策の周知

- 説明見学会、一般見学会、実習生受入等における説明
2023年度版フリースクール説明会資料に専用ページを継続して掲載し、事件概要と再発防止施策、子どもの事件を守るための取組の説明を徹底しました。

- 子どもミーティング、東京シュレ通信 7, 8 月合併号、保護者会での周知
パンフレット『ココロとカラダの安全を守るために』をシュレ通信 7, 8 月合併号に掲載するとともに、子どもミーティングでの読み合わせ、保護者会等での確認をとおして周知しました。

② 宿泊行事ガイドラインおよび行事後のアンケートの実施

行事企画実施におけるガイドラインを策定し 7 月の大田シュレ夏合宿に合わせて試行、また、子ども参加者に行事実施後のアンケートを実施することとし、行事開催ごとに改良しながら実施しました（詳細は、履行と再発防止委員会の報告参照）

③ 子どもの人権擁護・セーフガーディング（安心安全）に関する取組

大田シュレの所在地域主催のイベントにて、地域参加者による施設の写真撮影と SNS での発信があり、フリースクール情報の無断流出とそれによる被害当事者の方への二次加害となる事故を起こしてしまったことの再発防止として、また、子ども活動・子ども支援の現場におけるセーフガーディングの社会通念を踏まえて、子どもの安全と肖像権を守ることの観点から 2 つのガイドラインを定めました。

- ・ 「写真撮影に関するガイドライン」
- ・ 「撮影・録音、取材・情報提供に関するガイドライン」

④ 履行と再発防止委員会の立ち上げと事業報告

履行と再発防止委員会は、2023 年 10 月に人権委員会より「和解条項に基づく実務を担う別の組織が必要である」との指摘を受けて、同月の理事会にて設置に着手し、12 月 7 日、1 月 7 日、1 月 22 日、1 月 28 日の 4 回に渡る準備会を踏まえ、代表理事 2 名とスタッフ 2 名（内 1 名は事務局兼務）の構成で 2 月に発足した委員会です。履行と再発防止委員会は、本法人内における子ども等への人権侵害や、あらゆるハラスメントを防ぐために必要な策を実施します。委員会規約に定められた 12 項目の業務について、23 年度の実施状況は以下の通りです。

ア) 子ども等が利用できる人権相談窓口の設置と運営

- 既存の人権委員による人権相談窓口から、履行と再発防止委員会のスタッフ委員 2 名が窓口を務める体制への変更を進めました。（子ども達への告知方法については、24 年度の計画に記載しています。）
- 通報を受けた際の組織内の隠蔽を防ぐために、総会の招集権を持つ監事 2 名に対して同時通報を行う体制を整えました。

イ) 本法人スタッフへの人権研修の実施（スタッフとはサポートスタッフ及びボランティアスタッフを含みます。）

- 2 月 6 日に一般社団法人 J-CAPTA による「スタッフ向け CAP ワークショップ」を実施し、31 人が参加しました。
- 各拠点のスタッフから構成される「性について学ぶ会（性部会）」で、学期に 1 回会合をもち、各拠点の「性についての学び」の取り組みを共有し、学び合いました。また、10 月 9 日に助産師を講師に、現場から出た課題をトピックに学び深めるスタッフ研修を実施し、15 人が参加しました。
- 子ども等への定期的な性暴力予防ワークショップの実施助産師の鶴岡利江子さんを講師に「生と性の健康講座」3 回（のべ 85 人参加）、スポーツ交流会内における一般社団法人 S.C.P. Japan 様ご協力の下「スポーツから多様性・ジェンダーを学ぶ」企画（51 人参加）、一般社団法人 S.C.P. Japan スタッフの話を聞く会（オンライン、全スペース）、Femtech Tokyo（フェムテック・トーキョー：女性の健康上の課題を解決するフェムテック・フェムケア企業が出展する展示会）への見学および事後学習（のべ 11 人参加）を行いました。

ウ) 相談窓口一覧リーフレットの作成・改訂と周知

- 入会時に配布し説明を行うとともに、現会員に対しては、内部向け通信『シュレ通信』の 7・8 月合併号にて周知を行いました。
- 相談窓口の変更に伴い、「ココロとカラダの安全を守るために」のリーフレット見直し作業に着手しました。2024 年 5 月に内容の見直しを行い、6 月に配布する予定です。
- 通報相談窓口の情報を記載したチラシを 2024 年 4 月中に作成し、5 月から各スペースで掲示をします。
- 通報相談窓口の情報を記載した子どもが持ち運べるカードを 2024 年 5 月中に作成し、6 月に子ども達に配布します。

エ) 性暴力に関する書籍の各事業所への常備

- 被害当事者の方から推奨された書籍が各スペースに揃っているかの定期チェックを 2024 年 4 月に行います。（実施済み）

- 同推奨動画については各スペースで観る機会を年間計画に組み込み開催いたします。

オ) スタッフ採用時の性犯罪歴・性加害歴確認による、性犯罪歴のある者の雇用防止

- 2024 年 1 月に現行の誓約書を改定し、2024 年度も継続するスタッフおよび新規採用スタッフ（常勤 13 名／非常勤 13 名）・理事 7 名・監事 2 名・ボランティア 6 名・講師 2 名に対して 2024 年 3 月に再署名・再提出を求め、受領しました。今後、新規で採用・依頼するスタッフ・ボランティア・講師に対してはその業務開始時に署名・提出を求めます。

カ) ハラスメント防止規程の確認

- 22 年 4 月にハラスメント防止対策が全事業者で義務化されたことに伴い、厚生労働省が示した例をもとに、2022 年 4 月に、当会における防止規定を策定しましたが、法が規定するハラスメントが雇用された職員間を想定していることから、今後は役職員と子どもや保護者とともに改定版の策定に向けて議論を進めます。（24 年度中に実施予定）

キ) スタッフが性加害を行ったと思われる場合の、迅速で適切な措置

- 通報・相談を受理した後の対応の手順について当委員会の委員だけで定めてスタッフに実施を求めるのではなく、基本的な価値や考え方をスタッフと深く共有できるよう、具体的な事例を想定した訓練を重ねて、対応手順の具体化と実践体制の整備を進めます。第 1 回の「通報対応訓練」は、24 年 4 月に実施しました。

ク) 被害者を保護するための必要かつ適切な措置

- 被害者をはじめとする子どもの安全確保が最優先であるという認識のもと、家庭・シューレ・その他の施設を含めた安全確保の在り方について検討し、その実施に備えて、24 年度からは予備費として予算を確保する方針を決定しました。

ケ) 本法人が運営する事業に参加する子ども・若者等を対象とした年 1 回のアンケートの実施

- 年 1 回のアンケートの実施時期、実施主旨について検討を行いました。会議や訓練を経て、夏前に実施します。
- 宿泊イベント後のアンケートを計 4 回実施しました。

第 1 回：新宿シューレ秋合宿 in 相模湖（10 月）：配布数 19／回収数 12／回収率 63.2

第 2 回：ホームシューレ湯河原合宿（10 月）：配布数 65／回収数 16／回収率 24.6%

第 3 回：スキー・スノボ合宿 in 群馬（2 月）：配布数 22／回収数 0／回収率 0.0%

第 4 回：王子シューレ鎌倉江ノ島旅行（2・3 月）：配布数 13／回収数 3／回収率 23.1%

アンケート実施担当：第 1 回・第 2 回（大田シューレスタッフ）

第 3 回・第 4 回（ホームシューレスタッフ）

上記宿泊イベントに関しては、対象スペース以外の拠点スタッフが持ち回りでアンケートを担当しましたが、回収率改善とより迅速な状況把握のため、2024 年度以降は履行と再発防止委員会が実施・とりまとめ・フォローアップを一括して行うこととしました。

コ) 実施状況を理事会へ報告

- 24 年 2 月 17 日開催の理事会、および、3 月 1 1 日と同 20 日の 2 回にわたって開催された人権委員会と履行と再発防止委員会との合同会議において、履行と再発防止委員会委員である代表理事が報告しました。
- その他、本法人人権委員会または理事会から意見表明・提言・助言を受けた策を実施しました。
- 人権委員会と履行と再発防止委員会との合同会議（3 月 1 1 日・同 20 日の 2 回開催）においてご指摘・ご提案いただいた事項、ならびに、人権委員会からの「報告書」等においてご指摘・ご提案いただいた事項について、方法・体制・時期等を検討しつつ、速やかに実施できるよう進めてまいります。

⑤ 事件対応・再発防止の取組に際して

理事会は、NPO 法で定められた通常総会での年次報告とその開示、臨時総会時の状況報告ならびに拠点統合と 2024 年度事業計画の変更案について、被害当事者の方への事前のご連絡を図りましたが、臨時総会議案の取りまとめに時間を要したことから直前にお伝えすることになり、被害当事者の方から二次加害との訴えを受け、その抗議の内容を総会で会員の皆さんへ全文をお伝えするとともに、被害当事者の方との丁寧なやりとりを重ねていくことを確認しました。

また、役員・スタッフとして知り得た情報についての SNS 発信が複数発生し、人事・コンプライアンス委員会および理事会对応にあたるなど、二次加害や社会的に誤解をもたらす事態への対応を図りました。

(3) 不登校・学校外の学び・学び場の制度整備

団体内の状況への対応に注力せざるを得ない年度となったことから、制度整備への取り組みには手が回らなかった状況でしたが、北区では協働事業や働きかけが実を結び、北区独自のフリースクール通所家庭への支援助成が実現し、東京

(1) 王子シューレ

事業費 1,976 (3,073) 万円 ※ () は 2022 年度実績

2023 年度は、年間を通して 9 名が入会し、23 名が退会しました。年間を通じて、オープンデイ・説明会を毎週実施することでアクセスしやすい仕組みづくりを目指しましたが、期首の入会予測達成には至りませんでした。活動づくりにおいては、食、スポーツ、表現活動、美、文化活動、おしゃべり・対話、IT、学習サポート・進路づくりなどを柱に、在籍人数規模に応じた活動づくりを進めました。週 1 回の食堂やお菓子づくりを通じて、保護者の方々同士の交流、保護者と会員の交流も生まれています。

2023	こんなことがありました
4 月	高校コース入学式、チュートリアル
5 月	新プログラムスタート、都電荒川線貸切企画 シリーズ人間①、お茶会&月 1 スポーツ開始
6 月	お泊り会、避難訓練①、シリーズ人間②
7 月	夏祭り、性講座①、活動発表会① 高校コース夏季スクーリング
8 月	担任見学会、旅行企画相談、開放日
9 月	プログラム改変、シューレ通信特集企画
10 月	ようこそ先輩①、フェムテック見学 ゲームづくり講座開始、保護者面談
11 月	美術館見学、文化祭、ようこそ先輩②
12 月	音楽祭、クリスマス会、避難訓練② 高校コース冬季スクーリング
1 月	新年会、スポーツ交流、シリーズ人間③ ようこそ先輩③
2 月	節分、スキー・スノボ合宿、性講座② 鎌倉江の島旅行・日帰り企画
3 月	活動発表会③、シリーズ人間④ 高校コース卒業式、旅立ち祭

① 異年齢での協同的・創造的な学び

- 在籍人数や在籍者の指向・志向の多様化を踏まえ、フリースクールならではの、異年齢が混ざった活動づくりを進めました。各種イベントでは、実行委員会の担当スタッフを中心に、事前準備、実行委員会への参加、イベント当日まで切れ目のない伴走を行いました。
- お泊り会(6月)、夏祭り(7月)など王子でのイベントのほか、他スペースに声をかけての規模の大きな企画も実現し、個人の「やりたい」がみんなの「やりたい」に繋がりました。
- 2年目となる「美の時間」では、ネイル、茶道、パーソナルカラー診断、骨格診断、顔タイプ診断など、メンバーの関心に沿った講師を招いて、初等部から高等部まで幅広い年代の会員が共に学びました。

② 食の活動の充実

- 週 1 回の食堂企画を、通年で実施しました。メニューをミーティングで募り、買い物・調理・片づけを協同で実施するほか、月に 1 回は保護者の方々をお願いして「保護者食堂」を実施。他の家庭の味を知ったり、保護者と一緒に調理をしたり、保護者同士が交流する場になりました。
- コミュニケーションの場を兼ねて、定期的にお茶会を実施しました。保護者のサポートを受けてスイーツづくりに挑戦したほか、豪華なお菓子を取り寄せるなどの案もミーティングで出され、素敵な時間が作られていきました。

③ 表現・発表の機会の充実

- 活動発表会を年に 2 回実施し、バンド演奏やダンス講座の発表のほか、2 学期に始まったゲームづくり講座の成果発表も行われました。シューレ通信への作品投稿も継続的に行われています。
- 文化祭では個人出店・グループ出店による作品展示や販売、保護者にもご協力いただいたのカフェ出店などで大いに盛り上がりました。音楽祭では 4 グループがステージに立ち、スタッフや OB を交えた音楽活動や、講師と一緒に行うステージ発表などが充実しました。旅立ち祭でもステージ発表を多数行ったほか、実行委員会に参画して主要な役割を担いました。
- ゲームを通じた日常的な交流に加え、活動発表会でおすすめゲームのデモンストレーションをしたり、初等部では「マイクラゲーム交流」を 3 回実施して見学中のメンバーを含めた交流の時間をつくったりしました。

④ 学習や進路づくりのサポート、環境の整備

- チュートリアルや面談のほか、日常の会話を通じて個々のニーズをつかみ、学び直しを含めた学習サポートや進路づくりのサポートを行いました。初等部の午前の学習タイムや、中 3 で進路を考える「いちご(15)ミーティング」(2回)も行いました。
- シューレ後の生き方を考える高等部後半の年代においては、学びなおしや、大学・専門学校等への進学サポートのほか、自立支援や就労移行支援を行う機関への紹介や伴走も行い、個々のペースに合わせた社会的自立を応援しています。また、そのための諸機関との関係構築、情報収集も

⑤ 人権・権利に関する学びの継続的な実施

- ・年 2 回（6 月、2 月）の「生と性の健康講座」のほか、フェムテック見学、子どもの権利条約を知って対話する時間、多様性について考える時間などを持ち、生と性の学びや子どもの権利を身近に感じ、考えることを行いました。
- ・日常のシュレ生活での困り事や疑問を出発点に、物心両面での適切な距離感について考え合ったり、社会講座で世界情勢を知り、活動で訪れる鎌倉について学ぶ時間も持ったりしました。

⑥ 自然・文化を体験する活動、スポーツの充実

- ・昨年度に続き、ミーティングで提案した旅行企画「鎌倉・江ノ島旅行」（参加 13 名参加）を実現させました。より多くの仲間が楽しく参加できるように、年度の前半に立てた計画を子どもたち自身が見直し、比較的近距离の目的地に行き先を変更したほか、日帰り参加コースも設けました。
- ・アーティゾン美術館での美術鑑賞では、学芸員によるツアーと講座の協力をいただき、深く芸術に触れました。
- ・例年どおりスキー・スノボ合宿に参加（王子からは 9 名参加）したほか、月 1 回ペースで体育館を借りて身体を動かしました。スポーツ交流では、他スペースと合同でスポーツを楽しみ、元王子シュレインターンスタッフから、新しいスポーツや、スポーツにおける性の多様性尊重や人権尊重について学びました。

⑦ 「職を知る」「人に会う」企画の実施

- ・「シリーズ人間」では、身近な大人（現・元スタッフや保護者）の半生や職歴に関する話を通じて、学ぶことや働くことの意味、人との出会いのおもしろさを知りました。
- ・「ようこそ先輩」では、王子シュレ卒業生を招いて、在籍当時の思い出や経験、シュレ後の進路、好きなことを見つけたまでの道のりを知る機会をつくりました。実行委員会など、シュレに脈々と伝わる活動について、いまの悩みを先輩に相談するなど、縦のつながりが生きています。

⑧ スタッフ体制、ボランティア体制の整備、コミュニケーションの充実

- ・学生ボランティアや実習生（国際医療福祉大学、東京福祉専門学校、大東文化大学など）を積極的に受け入れ、子ども若者を見守り活動づくりを支える大人を増やすとともに、年長の人びととのリアルな交流を通じて、フリースクール以降の生き方・学び方に関する現実的なイメージを持つ機会を育てました。日常生活での伴走のほか、文化祭でのサポートやスポーツの機会充実にも、実習生やボランティアの力を活用することができました。
- ・公式 LINE を通じて現役員および保護者に対するお知らせを配信するほか、イベント・企画ごとにグループチャットを活用することでメンバー同士の連絡・相談に役立てています。また、卒業生・卒業生保護者にも登録し続けてもらうことで、卒業後も連絡を取りやすい体制を作り、折に触れて卒業生が近況報告をしてくれたり、得意なことを生かして現役生の活動をサポートしてくれたりしています。

⑨ 安心な場づくり、スペースの引越しを見据えた環境整備

- ・限られたスペースのなかで、ときに少人数で安心して過ごすことができるよう、「すみっこスペース」をつくったり、ソファを設置してリラックスして過ごせる場所を増やしたりしました。
- ・より適した規模・構造の建物への転居を目指し、現在および今後の活動に必要なもの以外を計画的に廃棄して、活動に使うものを子ども若者が使いやすいように収納・整理することを進めました。年度途中に新宿・流山・HS のシュレとしてのスペース閉鎖が決まり何人もの退職者が出たことに伴って転居時期は未定になりましたが、2 部門 3 スペースから活動に使える物品等を受け入れる代わりに古い什器を一扫するなどしながら、より快適に過ごせるスペースづくりを進めています。

⑩ 保護者同士、保護者・スタッフ間のコミュニケーションの機会の充実

- ・保護者食堂や文化祭でのカフェ運営を通じて保護者同士、保護者とスタッフの交流の機会を持ったほか、1～3 月には保護者会後に懇親会を持ち、保護者同士が知り合い、スタッフともより深く知り合う時間になりました。

【課題と今後の方向性】

① 安心・安全な居場所の維持

- ・2024 年度は、34 名（正会員 26 人、準会員 8 人）でスタートします。数年にわたってスタッフの退職や異動が続いていること、またシュレ全体での大きな変化も受けて、すべての会員が安心して過ごせることが最重要課題です。新しく関わるスタッフや仲間との関係構築が良好に行えるよう、スタッフ同士の協力・協力を高め、保護者の協力も仰ぎながら安定的な場づくりを目指します。

② 入会増の取り組み重点化

- 活動を充実させ、必要に応じて同学年・同年代とのつながりを豊かにしていくためにも、引き続き、入会増のための取り組みを強化していきます。見学者のニーズを汲み、必要な情報提供に努め、常勤 2 名体制で安定した見学対応が行えるよう、サポートスタッフとの役割分担・連携も進めていきます。

(2) 大田シューレ

事業費 1,561 (1,447) 万円

2023 年度は会員増への取組の強化と、「自己実現」、「充実感」をキーワードに活動を創ってきました。

① ミーティング・活動づくり

- ミーティングは、毎週月曜日 13:00～行いました。前年に引き続き午前中に「朝の会」「学びタイム」「活動タイム」を設け、活動を確認・認識しながら活動づくりを行ってきました。
- 「朝の会」: その日の活動の確認をし、その時点で決めることがある場合は話し合いを設け、活動の確認をしていきました。
- 「学びタイム」: 毎朝学びの時間を設け、個別学習と協働学習とを行いました。また、2 学期には学びタイムの時間を使って、「性」に関することを取り上げていきました。
- 「活動タイム」: それぞれが関心ある活動を行いやすくするための時間と位置づけ、個人的な関心から出発し、他の人にも呼びかけ、活動を創ってきました。活動タイム内でのやり方についてはミーティングなどで時間の使い方や意味を考えながら作ってきました。

2023 年度活動タイムの内容

ゲームサークル、バスケットサークル、生き物クラブ、編集サークル（シューレ通信編集部も兼ねる）、
テーブルトーク・ロール・プレイ・ゲーム（TRPG）サークル、スポーツタイム、YouTube プロジェクト

② 火曜講座

- 火曜講座は時には外部の講師をお招きして、子どもたちと共に行いたい学びや体験を提案し、行う時間です。今年度は毎月ごとに、「哲学カフェ」「社会的な問題・課題」「お菓子作り」などを行いました。
- また、梶原徹也さんを講師に招き、リズムワークショップを階下の保育園の子どもたちと一緒にいたり、海外経験のある学生さんをお招きして海外の話聞く時間、区内で工作教室をやられている方をお招きしてハロウィンに向けての工作、なども行いました。

③ なんでもタイム

- 毎月第 1 週のミーティングで次の月の「なんでもタイム」を話し合いながら決めていきました。今年度は以下のようなことを行いました。

4 月 : 始まりの会、お菓子作り・お茶パーティ、5 周年祭、藤子・F・不二夫ミュージアム、
5 月 : 室内カラオケ、「トンデミ」（スポーツ施設）、（花月園公園雨天順延）
6 月 : 花月園公園、若洲海浜公園、品川区民公園、お菓子作り・お茶パーティ
7 月 : シューレ内夏縁日、お茶パーティ
9 月 : 防災について考えよう、「ラウンドワン」、川崎水族館、「トンデミ」
10 月 : 室内プール、果物狩り（雨天順延）、ハロウィンパーティ
11 月 : みんなで TRPG、果物狩り（雨天中止）
12 月 : お茶パーティ、ゲーム大会、冬の縁日、クリスマス会
1 月 : 新年会（おもちづき）、多摩川でひたすら走る日（RUN の日）、スポーツ交流
2 月 : 餅を消費する会、工場見学（羽田クロノゲート）& 羽田空港見学、「りっくんランド」
3 月 : エビチリを祝う会、平和島アスレティック、ゲーム大会

④ 夏合宿

- 7月20日～22日、2泊3日で大田区の保養施設「休養村とうぶ」（東御市）で夏合宿を行いました。年度初めに実行委員会が立ち上がり、週1回実行委員会を持ち、ミーティングにかけながら場所、内容など決めていきました。当日は自然体験、ブルーベリー狩り、そば打ち体験、上田城址散策などを行いました。

2023	こんなことがありました
4月	5周年祭 藤子・F・不二雄ミュージアム
5月	トンデミ
6月	総会、避難訓練、花月園公園、若狭海浜公園
7月	シュレ内夏の縁日
8月	担任見学会、地域フェスティバル（夏祭り）に参加
9月	防災について考える、川崎水族館、ラウンドワン
10月	室内プール、ハロウィンパーティ
11月	東京シュレ文化祭
12月	避難訓練、冬の縁日、クリスマス会、忘年会（保護者）
1月	新年会（おもちつき）、スポーツ交流会
2月	羽田クロノゲート（ヤマト運輸工場）見学、花田空港見学、りっくんランド、
3月	大田区フリースクール等協議会、平和島アスレチック旅立ち祭、

⑤ 地域夏祭りへの参加

- 大田シュレがある仲六郷商店街が行った「雑色サマーフェスティバル」（8月26日、27日）に参加しました。保護者の方々と5月から実行委員会を立ち上げ、内容を検討していきました。また、大田区社会福祉協議会、仲六郷2丁目町会の方々とも連携を取り、当日は、建物を開放し、スーパーボールすくい、スライムづくり、射的、ゲームコーナー、飲み物販売場度を行いました。100人を超える方が訪れ、大変にぎわいました。地域の中にフリースクールの存在をしていただく機会にもなりました。

- しかし、当日、一般来場者に室内写真撮影を禁ずる注意を怠り、無断で撮影された室内写真が SNS でアップされる事故が起きてしまい、削除を求めるとともに、再発防止について、人事・コンプライアンス委員会、理事会で組織として検討し対応しました（「写真撮影に関するガイドライン」、「撮影・録音、取材・情報提供に関するガイドライン」の策定とそれに基づくイベント活動等の実施）

⑥ オンラインでのつながり

- 家にいながらシュレとつながりを持っている会員の方とのつながりの一つとして、月に数回オンライン（Zoom）でのつながりを持ちました。

⑦ 会員増の取り組み

- 会員増に力を入れる年として、年度当初、以下の計画を立てていました。
 学校、行政、地域などに働きかけ、会員増へつなげていく
 活動内容を充実させ、長くシュレ活動に参加してもらえるようにしていく。
 ブログなどを活用し、活動内容を社会に発信し、大田シュレの認知度を上げ、会員増につなげていく。
 説明会参加の方で親の方がつながりを求めている方もおり、親の方だけでもつながれる仕組みを作っていく。
 地域を絞り（大田区、品川区、その周辺地域や京急線沿線など）広報をしていく。
 学校、行政（教育委員会等）、地域（町会、社協）とのつながりは例年に比べ、密に行ったり、ブログの更新等も定期的に行ってききましたが、昨年度は会員増にはなかなか結び付きませんでした。

(3) 新宿シュレ

事業費 2,235 (2,167) 万円

2023年度は、11月まで5人が入会しました。新型コロナが5類に移行したことで、イベントや食べたりする活動を（まだまだ感染に気をつけながら）増やしていきました。秋ごろより、スタッフの退職、スペースの運営、統合、再編など、子どもたちにとっても不安定な日が続きました。日常は、いつも通り楽しく過ごせるよう心がけました。

① 各部の充実

- 全体ミーティングと別に初・中・高等部のミーティングを毎月行いました。話し合いも活発になり、やりたいことを出

し合って各部の企画や、進路や新宿シューレについてなどゆっくり話す時間になりました。

- テュートリアルなど、個別や数人で話す時間を持ちました。
- 日常の中で、公園やお店巡りや、スペース内でのかくれんぼ、だるまさん転んだなど、初等部企画が増えました。

② 活動・学びの充実

- 初・中等部の基礎講座、英語、数学、社会講座、高校コースのレポートサポート講座、高認対策講座、大学受験対策講座、受験・アルバイト面接の講座などの学びを行いました。
- 10月に2泊3日で相模湖キャンプ合宿を行いました。実行委員会やミーティングで話し合い、子どもたち中心に計画を立て実現しました。
- 卓球ほぼ毎日、フットサルは毎週行い、プール、バスケットなどのスポーツを行いました。野球は、他フリースクールと定期的に交流を行いました。
- 他スペースとの交流（各イベント、スマブラ大会、ポケモン大会、野球、スポーツ交流会など）を積極的に行い、スペース間の交流が深まりました。
- 体験的な学びも充実しました（表現活動、バンド、ボイストレーニング講座、料理講座、ドラム・ギター講座、映像制作、イラスト、実験、もの作り、イベント企画）。
- 学習の時間（基礎学習、英会話、レポートサポート講座、高認試験対策講座、大学受験対策講座等）社会講座では時事問題やマイノリティのことなど、社会状況や子どもたちの興味に合わせて行いました。
- 通信作りを通じた、文章書き・編集による表現活動、子どもたちのやりたい特集企画を発信しました。

③ イベントの充実

- 28周年祭、年度末のイベントの新宿祭では、バンドや歌の発表、脱出ゲームや作った映像の上映、クイズ大会では観客も参加するなど賑やかな会になりました。
- ハロウィンパーティー、クリスマス会、餅つき、節分など、季節のイベントを行いました。ケーキ作りやお菓子を食べる機会が増えました。
- 文化祭・音楽祭・旅立ち祭など全体に関わる実行委員会では、積極的に実行委員会に関わり活動しました。
- 会員増に向けて今年度もオープンディを毎週行い、見学・オープンディの体制を整えて、初めて来た日の印象を大事にするようにしました。町内のお祭り「穴八幡祭り」に参加しました。子どもたちが夜店を出したり、盆踊りを踊ったりと地域方と交流しました。

2023	こんなことがありました
4月	新年度スタート、高校コース入学式、チュートリアル
5月	通信作り 電車の旅、子どもの日企画
6月	お泊り会
7月	28周年祭、納め会、高校コーススクーリング
8月	担任見学会、流しそうめん
9月	新学期スタート、穴八幡祭り
10月	秋合宿（相模湖）、ハロウィンパーティー、通信作り
11月	文化祭
12月	音楽祭、クリスマス会、納め会、高校スクーリング、通信作り
1月	新学期スタート、高校コース年度末試験
2月	節分、スキー合宿、餅つき、通信作り
3月	旅立ち祭、新宿祭、高校コース卒業式 新宿シューレ閉室・統合・業務終了

④ 内部向けの発信

- 公式 LINE、保護者メールで日常のお知らせを行い、その他、会員向けに Twitter、YouTube で日常・イベントの様子を発信しました。

⑤ スペースについて

- 2024年7月で建物の契約が終わるため、新宿区に契約の更新をお願いしましたが、2027年7月まで、最後の3年の更新となりました。
- 12月の臨時総会で年度末の新宿シューレのスペース活動の終了と建物の解約明け渡しを決め、3月末に向けての引っ越し、建物の荷物整理などを行いました。2月6日には全スペース閉室にするなど会員、保護者のご協力をいただいたときスタッフ総出で取り組んだほか、春休みには子どもたち・OBOGも手伝いに来てくれて、即戦力となってくれました。

(4) 流山シュール

事業費 1,483 (1,428) 万円

2022 年度同様の常勤 2 名、サポートスタッフ 1 名のもと、下記の計画に基づき活動しました。

① 子ども実行委員会

- ・外出企画・映え部企画（お菓子づくり・お出かけ）お泊り会 TRPG サークル・文化祭・スキー合宿・夏合宿

② 15・18ミーティング

- ・情報交換会・ようこそ先輩（シリーズ人間）・面接指導

③ 個別学習対応

- ・高認・英語（英会話）・数学・小論文

④ 親の会

- ・年 1 1 回開催

⑤ 千葉県フリースクール等ネットワーク活動

⑥ 広報

- ・公式ラインを使用した問い合わせ窓口新設

⑦ 性について学べる・語り合える環境の整備

- ・語る会の実施

■ 5. ホームエデュケーションネットワーク運営事業について

① 「第 23 回ホームシュール全国合宿」

全て運営協議会で企画・運営し、プログラムの全てが会員によって創られました。参加者は 65 人でした。

② 「第 1 回京都合宿」

- ・ホームシュール東西会員の交流企画となりました。
- ・夜は趣のある建物で懐石料理をいただきながら親睦会を開きました。
- ・参加者は 25 人でした。

③ 「スペース活動事業」

- ・立石 BASE を拠点とし、定期的な交流と他者との活動を目的に月 2 回開催しました。
- ・そのうち 1 回は室内交流。1 回は様々な体験をしました。
- ・参加者は 8 人でした。

④ 「ゲーム交流・語ろう会・英語コース」

- ・1 月まで月 2 回ゲーム交流を開催しました。（のべ 87 人参加）
- ・1 月まで月 1 回いろいろ語ろう会を開催しました。（のべ 77 人参加）
- ・2 月まで月 2 回英語コースを開講しました。（毎回 2~3 人参加）

⑤ 「オンライン交流会」

- ・月 1 回ペースで開催しました。（のべ 161 人参加）
- ・主に第一部はセミナー形式、第二部はオンライン交流を開催しました。
- ・「ホームシュール運営協議会」
- ・オンラインで月 1 回開催しました。

⑥ 会員が進行・記録をし、自主運営しています。

- ・毎回 10 人~20 人くらいの参加がありました。（のべ 190 人）

⑦ 「ホームシュール高校コース」

- 最後の北海道スクーリングでは「旭川博物館見学」「そば打ち」「犬ぞり」「エアボードで雪の斜面を滑降」「旭川グループ行動」「勾玉作り」などを体験しました。特に犬ぞり体験は印象深かったようです。
- 3月9日には7名が卒業し、9名は「アットマーク国際高等学校」に転入学しました。

課題と方向性

- 広報活動自粛の影響により、資料請求数・新入会の最も少なかった1年でした。入会減により、収入が低下しました。

■ 6. 高校コース

1) フリースクールコース

明聖高等学校東京シュールコースは2年目となり、入学転入学8名、在籍30名、名が卒業しました。札幌自由が丘学園三和高等学校高校コースは、3名が在籍、うち2名が卒業、1名が明聖へ転校しました。

2) ホームシュールコース

三和高等学校ホームシュールコースは、入学2名、在籍16名、7名が卒業しました。

3) 高校教育提携について

札幌自由が丘三和高等学校は、2024年度より学校法人北海道教育学園三和高等学校となり道内のみの狭域通信制高校になることに伴って、2023年度をもって提携を終了しました。

ホームシュールコースは、臨時総会にて生徒の身分保証をお約束し、別の広域通信制高校との新たな提携を進めましたが、提携に至りませんでした。

■ 7. 公民連携事業

(1) 世田谷区教育支援センター ほっとスクール「希望丘」運営委託事業 3,898 (3,705) 万円

2023年度も、定員オーバーのため9月で見学受け入れをストップしました。年度末の最終的な登録人数は、小学生64名・中学生67名でした。1日を3つのブロック(午前フリータイム・お昼基礎学習タイム・午後ふかめタイム)に区切ったの活動を行い、「子ども予算会議」「プロジェクト活動」等を通して「ほっとスクール希望丘らしい学び」を模索しました。また、子どもだけでなく保護者とも創るほっとスクールを目指して、サポート委員会とともに子ども達の学びを深めることができました。地域連携も進み、隣の高齢者施設でのボランティア体験も行うなど、活動や地域との関わりも拡げることができました。

2023	こんなことがありました
4月	継続生面談週間、はじまりのつどい、保護者会
5月	不登校保護者のつどい、子ども予算会議
6月	保護者会、サポート委員会
7月	不登校保護者のつどい、保護者懇親会、おわりのつどい、夏のイベント(縁日)
8月	世田谷スタッフ研修、学校訪問、担任見学連絡会
9月	はじまりのつどい、不登校保護者のつどい、ほっとスクール合同進路説明会
10月	保護者会、サポート委員会、ほっとスクール合同芋ほり遠足
11月	避難訓練、スポーツ交流会、保護者シンポ「経験者が語る不登校」、生と性の健康講座
12月	不登校保護者のつどい、おわりのつどい
1月	はじまりのつどい、保護者会、サポート委員会
2月	不登校保護者のつどい、5周年祭、複合施設施設合同避難訓練、臨時親子ミーティング
3月	小学生の卒業を祝う会、赤ちゃんふれあい体験お別れ遠足、旅立ち祭、おわりのつどい

① 「学び」の進化

- 午後は「ふかめタイム」と設定し、子どもとともにほっとスクール「希望丘」らしい学びを模索しました。さまざまなプロジェクト活動が拡がりまし

たが、午後はスタッフや場所が限られてしまうことから、ストレスフルになった小学生同士で、トラブルにつながる場面も多々ありました。(対応については事項)

② 「学び」によって「居場所」を侵食させない

- それぞれの子どもが、安心できる「居場所」であることが大前提です。しかし、人数が増えた 2 学期以降、子ども同士のトラブルも増え、スタッフ 2 名でそれぞれの子どもの気持ちや状況を確認し合うことが増えました。前述の通り、学びをふかめる「ふかめタイム」の導入により、スタッフの人手も足りないことから、臨時で親子ミーティングを開催し、特に午後の過ごし方についてみんなで考えました。(話し合いの結果、午後は保護者ボランティアの協力を得て、外遊びを企画し、ストレス発散デーを創る等、対策を試してみることにになりました)

③ 自分の権利・相手の権利をまもるという観点で

- ほっとスクール「希望丘」では、開設以来、「生と性の健康講座」を重ねています。昨年度同様、小学生は性についての講座を、中学生タイムは雑談タイムとして日頃感じている悩みや困っていることについて話し合いました。5 年間ずっと来てくださっている助産師の講師の方から沢山のエッセンスをもらいながらみんなで考えを深めることができました。
- 性に関してだけでなく、お互いの権利を大切にできるよう、さまざまな場面で、「権利」について考える機会をもちました。「こどもの権利条約」の 4 つの柱（「生きる権利」「育つ権利」「守られる権利」「参加する権利」）を軸に、ほっとスクールでのいろいろな場面に想いを馳せ、一緒に考えることができました。保護者と協力しながら、子ども達が自分と周りの人の権利について大切にできるようになるように考え続けていきたいと思えます

④ 保護者とも創るほっとスクール「希望丘」

- 保護者とスタッフとで「サポート委員会」を始動し、4 回の話し合いを重ねました。子ども達の活動の支援についてだけでなく、大人から子どもへ伝えたいこととして、保護者が行う「あかちゃんふれあい体験」も開催し、赤ちゃんに触れあいながら、子育ての大変さに気づき、困った時には「助けて」と言っていることや、身の回りにはたくさんの方のつながりや支援があることを学びました。また、夏休み中の開放日や外遊び保護者ボランティアの協力によって、子ども達の活動が充実しました。

⑤ 子どもと創る「活動予算」

- 子ども達が年間の活動予算を決める「子ども予算会議」も定着しました。子ども達はスタッフと共に、イベントや欲しいものなど、限られた子ども活動費のなかで先の見通しを持ちながら活動費を考えることができました。

■ 8. その他の活動について

(1) 保護者会／親のつながり合い・学び合い

- フリースクール保護者会は各スペースごと 8 月を除き月 1 回開催（リアル、オンライン併用）
- ホームシュールは運営協議会として月 1 回開催
- 親の会（フリースクール入会前や一般に開いた保護者の学び合い）は、王子で第 4 土曜日 14:00～16:00 に年 12 回、大田では第 1 日曜日に 13:30～16:30 に 8 月を除き年 11 回開催
- 親ゼミは、王子で第 2 土曜日 10:00～12:00 に 8 月を除き年 11 回開催

(2) 相談活動／説明見学会（保護者対象）／一般見学説明会（保護者以外対象）

- 電話相談：火曜日を除く午後実施
- フリースクール説明見学会：王子は毎週月曜日、新宿、大田は月 1 回の定期開催
- 一般見学説明会：ボランティア希望者等を中心に、新宿にて月曜日開催（事前申込制）

(3) スタッフ研修・研究会

- CAP 研修：一般社団法人 J-CAPTA による「スタッフ向けワークショップ」を実施（2 月、参加者 31 名）
- セーフガーディング研修（セーブ・ザ・チルドレン）（8～翌年 1 月、参加者 2 名）
- 訪問研修：
- 性について学ぶ会：学期ごと常勤スタッフで、各拠点での活動を共有

特定非営利活動東京シューレ 2024 年度通常総会 議案書

- ・北区教育総合相談センター講演会に参加（1 月、参加者 4 名）
- ・JDEC 日本フリースクール大会参加（3 月、参加者 3 名）

（4） 地域連携／不登校・フリースクール・多様な学び等のネットワーク活動

- ・北区子ども若者応援ネットワーク、北区立児童発達支援センター保護者の会、北区教育委員会中堅教員研修、大田区 NPO 交流会、大田区教育委員会フリースクール等協議会、練馬区教育委員会学校・フリースクール等協議会、新宿区教育委員会フリースクール等協議会、東京都教育委員会学校・フリースクール等協議会、フリースクール全国ネットワーク、登校拒否・不登校を考える全国ネットワーク、東京都フリースクール等ネットワーク、千葉県フリースクール等協議会に参加。
- ・実習等の受け入れ：立教大学、東京福祉専門学校、国際医療福祉大学・大学院、大東文化大学など

■ 9. 東京シューレ奨学基金および会費の減免支援

事業費 220（215）万円

1) 入会金免除、会費の減免制度

- ・家庭の経済状況や急変によってフリースクールに通うことを断念しないですむように申請によって会費・学費の減額支援し、減免分は東京シューレ奨学基金による充当を行いました。フリースクール、ホームシューレあわせて 9 家庭 10 名、合計 2,203,760 円（事務経費込み）の減免支援を行いました。

2) 東京シューレ奨学基金

- ・上記の減免は基金により実施しました。奨学基金は寄付金によって成り立っており、寄付受入れ 1,987,567 円、期末収支差額△216,193 円となり、本部寄付金から充当しました。ホームページクレジット決済によるご寄付、入会・入学時寄付の半額、会費端数切り上げ寄付のご協力等のご協力により一定の原資を確保できました。お礼申し上げます。

■ 10. 収益事業（認可保育所貸付事業）

大田ビルにおける認可保育所貸付を継続し、フリースクールのスペースを確保するとともに、土地建物の借入金返済（今期 1,468 万円）を計画的に実施しました。

■ 11. 団体の組織・運営に関する報告

（1） 定款変更と認証

定款第 21 条役員の選任の規定について、3 つの立場から選任される理事の人数表記を統一する変更について、2023 年（令和 5 年）9 月 6 日に認証されました。

（2） 組織

1) NPO 会員数

通常総会招集時会員数（ ）は昨年度

会員 167（294）名、支援会員 47（51）名、賛助会員 0（0）

2023 年度年間入会数；会員 28 名、支援会員 3 名、退会数；155 名

2) 総会運営

① 通常総会

開催日時・場所 6 月 10 日（土）14:00～17:00 於：東京シューレ新宿

会員総数 294 名、書面を含む出席会員者数 195 名 子ども会員のオブザーバー参加有

下記の議案について、承認可決されました。

【第 1 号議案】 2022 年度（第 24 期）事業報告及び決算に関する事項

【第 2 号議案】 会費および入会金に関する規程変更に関する事項

【第 3 号議案】 2023 年度（第 25 期）事業計画および予算（案）に関する事項

【第 4 号議案】 役員の選任および報酬に関する事項

【第 5 号議案】 定款変更（役員の選任の規定）に関する事項

② 臨時総会

開催日時・場所 12月8日(土) 16:00~18:15 於:東京シュレ新宿
 会員総数 267名、書面を含む出席会員数 174名、子ども会員のオブザーバー参加有
 【第1号議案】2024年度からの拠点統合の件

概要及び経過説明

- 通常総会における事業計画承認後、8月に複数のスタッフから退職や独立創業の意向が伝えられるとともに、新宿若松の建物の契約期間が延長(2026年7月まで)されるなどの新たな動向があった
- 理事会は、現スタッフ(常勤・非常勤)全員と面談を行って人的条件を確認し、拠点再編と2024年度の事業計画の策定、これに伴う中長期計画の修正を進め、以下のスケジュールでスタッフ、保護者、子ども会員と対話とアンケート実施を積み重ねながら検討を行った
 - 10/14(土) 保護者会・保護者面談
 - 10/18(水) 第1回意見交換会 20時~22時(オンライン)
 - 第1回子ども会員アンケート実施
 - 11/12(日) 第2回意見交換会 13時~15時(オンライン)
 - 第2回子ども会員アンケート実施

王子・新宿・大田・流山およびHSの5拠点での活動について、2024年度4月以降は王子(新宿・流山・HSを統合)・大田の2拠点に集約することを、賛成147、反対7、保留29で決定しました。

【第2号議案】退職希望スタッフの今後についての説明会実施を認める件

退職希望スタッフのその後の活動に関して、保護者からの新団体の説明を求める要望があり、組織体制・事業計画・セーフガーディング体制の計画の提示を求めると共に、不正競争防止や職員の誠実義務の観点等を踏まえて、説明会の案内を除いて東京シュレの会員情報・情報資産等を使用しないことを条件として、各拠点で1回に限り、説明会を開催することを理事会が認めることについて、賛成152、反対14、保留18で決定しました。

【第3号議案】2024年度からのホームシュレ事業の件

担当スタッフの退職希望とアンケートの回答結果から、同事業を2024年度から休止し、会員の承認があれば、その会員たちと希望するスタッフで新たなホームエデュケーション活動を行う体制が整い次第再開することについて、賛成155、反対3、保留25で決定しました。

【第4号議案】理事選任の件

理事2名(原野有理さん、喜多明人さん)から辞任の申し出があり、鈴木祐司さん、山岡茂治さんを、賛成170、反対0、保留15で選任しました。

3) 理事会運営〔●審議協議事項、○報告事項〕

・4月30日

○報告(人権委員紹介/代表理事の職務代行について/2022年度事業報告および2023年度事業計画案の進捗) ● ログハウス土地の買取申入れと買取方針の決定 ● 会費債権放棄5件の決定 ● 2023年度事業計画の検討(重点項目として①子ども中心・子ども参画・子どもの権利の推進 ②性暴力加害事件の対応、再発防止、情報開示 ③スタッフ・組織の強化 ④基幹であるフリースクール等の事業とホームシュレ事業の継続の4項目を確認) ● 2023年度予算案の検討 ● 拠点資産に関する計画(王子と新宿の移転を検討する、ログハウスのNPO活動の活用は行わず、保存処分については配慮もとに検討する、大田ビルの現状維持) ● 総会運営について

・5月13日

● 2022年度決算および監査報告と承認 ● 代表理事の職務代行について ● 理事の守秘義務違反と辞任申出について ● 次期役員候補者選出について ● 総会運営について

・5月25日

● 人事・コンプライアンス委員会規程の改定(臨時委員として保護者理事の指名を可とする) ● 次期役員候補者追加の選出

・6月7日

● 被害当事者の方からのメッセージへのお返事について ● 夏季賞与の執行について

・6月20日

- 代表理事の選任●人権委員の選任●人事・コンプライアンス委員の選任●財務チームメンバーの指名 ●内部総括（振り返り）・再発防止プロジェクトチームメンバーの指名

・6月25日

- 報告（所轄庁事業報告書等の提出、法人税申告と納付、会費の減免決定） ○役員の退職金支給
- 職員（当時役員）の SNS 発信に対する人事・コンプライアンス委員会からの報告および就業規則に基づく対応等について ●内部総括（振り返り）・再発防止プロジェクトチームの取組について（人権委員会との情報共有の機会、顧問弁護士への連絡、チームの理念や方針の策定、理事会開催ごとと事件・再発防止の取組について報告共有、キャッチアップ、アップフォローアップしていくこと）

・8月3日（WEB 審議）

- 財政委員会提案の会費減額審査基準の承認

・8月27日

- 報告（被害当事者様へのお返事について／再発防止の取組として宿泊ガイドラインの実施状況、性の学びの実施状況、スタッフ振り返り・再発防止策定 PT の実施状況／7月11日人権委員会開催報告、7月21日人権委員会と理事会連絡会開催報告／人権委員会の位置づけと役割変更に関する規程改定および子どもの相談窓口改善についての諮問／世田谷非常勤スタッフの採用について／寄付・ファンドレイジングの取組について／代表理事体制と代表理事事務局会議の定例開催について、事務局体制について／麻績村土地の購入に関する進捗／人事・コンプライアンス委員会の事案2件について／ニュースレターと2022年度活動報告について
- 新高校提携の進め方に関する協議 ●流山シュールスタッフからの申出、新宿シュールスタッフによる拠点に関する保護者メール発信、世田谷スタッフからの申出、王子スペースの拠点に関する計画の検討のため、保護者理事による常勤・非常勤全スタッフ面談の実施を決定

・9月24日

- 報告（定款変更の認証／認定 NPO 申請状況／代表理事体制について／王子、大田スペース運営のフォロー体制について／拠点再編検討のための臨時保護者会、子ども会員保護者との意見交換会、臨時総会の開催決定とスケジュールについて／大田シュール地域のイベントに関する SNS 発信を巡る事故および人事・コンプライアンス委員会による通告並びに写真・情報提供等に関する事故再発防止策の策定について／被害当事者の方からの手紙の伝達および大田シュール地域イベントに関する SNS 発信をめぐるお詫び並びに活動報告書等のホームページ開示、麻績村土地の取得に関する事前の連絡について／世田谷非常勤スタッフ募集採用プロセスについて／非常勤スタッフ有休の取得方法に関する是正について／会費減額審査結果について／再発防止の取組としての「宿泊ガイドライン」の実施状況、スタッフ研修報告（セーブ・ザ・チルドレン「子どものセーフガーディング連続研修2023」／性について考えるスタッフ研修の開催予告／麻績村土地、人権委員会規程変更や相談体制の変更に関する進捗／寄付報告）
- ホームシュールの新高校教育提携校について／フリースクール高校コース教育提携に関して ●ホームシュール立石拠点の契約更新の承認 ●人事・コンプライアンス委員会への申立て事案について ●拠点再編と2024年度事業計画について、スタッフ面談報告と今後の進め方について ●理事の辞任意向と対応について ●活動報告書の開示における被害当事者の方へのお伝えについて ●活動における「危機管理マニュアル」制定について

・10月8日

- 報告（人事・コンプライアンス委員会から事案についての報告／臨時保護者会の招集／活動報告書のホームページ開示について／再発防止の取組として①宿泊ガイドライン②写真・動画撮影ガイドラインについて／高校提携について／事件裁判資料の管理について／麻績村土地取得の進捗／ホームシュール葛飾拠点の更新完了）
- 危機管理マニュアル策定について ●拠点再編・スタッフ人員配置と2024年度事業計画の策定について、立案手順、子ども会員と保護者への説明提案と意見交換会実施について ●理事会人事について外部理事辞任申出の受理と外部理事の補充の決定 ●人権委員会からの「履行と再発防止委員会」の設置提案および人権委員会の役割と機能（助言・提案、通報相談等）に関する規程の改定／スタッフ採用時に性犯罪歴、性加害歴を確認するプロセスにおける人権委員会の関与について／ハラスメント防止規程における人権委員会の関与について）

・11月12日

- 報告（認定 NPO 申請状況）
- 冬季賞与について ●OBOG100 人インタビューホームページの管理運営について ●理事の欠員補充と候補者の推薦および選定について ●臨時総会運営、事件・履行と再発防止の取組の経過報告について ●拠点再編・スタッフ人事配置と2024年度事業計画の策定について ●退職意向スタッフの独立創業に関する対応について ●情報・財産

の保全、遺失評価・譲渡等の方針に関する協議 ●再編によるスタッフ体制と事業の引継ぎについて ●人権委員会規程変更の承認と履行と再発防止委員会準備会および事務局の設置

● 12月22日

○報告協議（臨時総会／認定 NPO 申請の取り下げ／独立スタッフによる説明会／人事・2024 年度事業計画・引継ぎ計画のスケジュール等進め方の確認、文書管理・保全・処分に関する確認／写真・動画撮影ガイドライン、取材・情報提供ガイドラインおよび関連事案について子どものセーフガーディングと二次加害防止の確認／今後の理事会スケジュールと被害当事者の方への事業報告を4月末に事前連絡する配慮についての確認）

●履行と再発防止委員会の規程の検討と設置当初の委員の選任について ●文化祭イベントへの対応について ●明聖高等学校教育提携変更依頼への対応について ●役員員へ退職時機密漏洩禁止等の誓約書を求める件について

● 1月30日

●履行と再発防止委員会規程の承認

● 2月17日

○報告（独立スタッフ説明会／明聖高等学校教育提携変更依頼への回答／スペース・事業の統廃合関係の進捗／文書管理、メール管理について／履行と再発防止委員会委員長の選出と同委員会と人権委員会との連絡会の開催の決定／CAP スタッフ人権研修報告／理事会日程調整）

● スタッフ退職金の執行について ●履行と再発防止委員会提案による「誓約書」の改定の決定と改めて全従事者に誓約書を求めることを決定 ●人事・コンプライアンス委員会通告について（文化祭イベント） ●ホームシュレ高校コース教育提携契約中止の回答と対応について ●理事の補充選任に向けて（理事候補者選出手続きの開始） ●スタッフ人事配置・2024 年度事業計画の検討 ●経理規程案の検討

● 3月19日

○報告（ホームシュレ高校コース生の転入（身分保証）について／期中会計監査の実施および監事指摘事項への対応／履行と再発防止委員会準備会（計4回）の開催より委員長選任、人権委員会との合同会議の開催、団体全従事者への誓約書の進捗、理事会・通常総会日程、退職時機密漏洩禁止の誓約書の提出状況）

●ホームシュレ高校コース教育提携中止について説明報告をお願いする件 ●退職スタッフ退職金および退職スタッフ有給休暇買い取りについて ●退職スタッフによる独立団体との覚書の取り交わしについて ●王子・本部拠点ビルの賃貸借契約の賃料交渉等について ●2024 年度事業計画および予算案について ●会費の減免決定と減額幅の見直し・減額基準の再検討について

代表理事事務局会議の開催

法人の意志決定と理事会運営を迅速に行っていくため、代表理事事務局会議を毎週火曜日（21:00 また 22:30 から 3 時間程度）定例開催すること決め、下記日程で、実施しました。

4月10日、5月31日、8月25日、8月29日、9月5日、9月12日、9月19日、9月26日、10月3日、10月10日、10月17日、10月24日、10月31日、11月7日、11月14日、11月21日、11月27日、12月5日、12月12日、12月19日、12月26日、1月9日、1月16日、1月23日、1月30日、2月6日、2月13日、2月20日、2月27日、3月5日、3月12日、3月26日 計33回

4) 委員会運営

① 財政委員会

- 委員構成：常勤スタッフ3名
- 業務：事業会費（フリースクール、ホームシュレ）の減免について、前期（4～9月）8件、後期（10～3月）9件の申請を受け付け審査を行い、減免額および奨学基金の運用額をとりまとめました（決定は理事会）。また、減免基準を再検討し成文化しました。

② 人権委員会（子ども等の人権の保護に関する委員会）

• 目的と業務

(目的)

第 1 条

本法人は、本法人の事業および活動に関わる子ども等の人権保護の推進のために、本法人内における子ども等への性暴力その他あらゆるハラスメントを防ぐことを目的として、子ども等の人権の保護に関する委員会（以下、人権委員会という）を設置します。子ども等とは、本法人に所属する子ども・若者のほか、イベント等への参加者、受託事業等の利用者、および子どもの保護者を含みます。

(業務)

第 5 条

人権委員会は次の通り、理事会に対して、法人内における子ども等への人権侵害やハラスメントを防ぐために必要な決定、意見表明、提言または助言を行い、再発防止策がとられた場合はその実施状況の検証を行います。

1. 本法人スタッフの人権研修内容の助言
2. 本法人に所属する子どもへの被害予防教育内容の助言
3. 子ども等に提供している外部相談機関情報についての助言
4. 子ども等が閲覧できる性暴力被害に関する書籍等の整備についての助言
5. 相談・通報体制の整備についての助言
6. 第三者調査検証委員会設置についての提案
7. 再発防止策の実施状況の検証
8. 本法人スタッフ採用に関する助言
9. 本法人ハラスメント防止規定に関する助言
10. その他人権委員会の目的を達成するために必要な報告、意見表明、提言または助言
11. その他必要な事項

- 委員構成：安藤由紀さん（委員長）、砂川真澄さん、甲斐田万智子さんの 3 名が再任
※甲斐田万智子さんは 2024 年 6 月に退任

- 委員会開催：7 月 11 日、10 月 30 日
- 理事会との合同会議：7 月 21 日
- 履行と再発防止委員会との合同会議：3 月 11 日、3 月 29 日

• 人権委員会報告書

2024 年 4 月 22 日
特定非営利活動法人東京シューレ
子ども等の人権の保護に関する委員会
委員長 安藤 由紀

わたしは 2021 年の暮れに、子どもの人権を擁護する目的のための人権委員の委嘱を受けました。翌年東京シューレ王子拠点において、「性暴力とは何か」また性暴力が人に与える後遺症についての研修を行いました。

2000 年から 2001 年にかけて起きた性暴力加害事件は、耳を疑うほどの事件にもかかわらず、初回研修において、スタッフの強い罪責感と同時に抵抗感、また無関心も混在する様子が見られました。

提示された過去の資料を読み進めるうちに、子どもと大人が共同作業をする場所において、子どもへの性暴力が起きうる可能性を排除した全体の認識不足と、隠ぺい工作による被害当事者への二次加害は、本来守るべき対象を見失った理念の失墜を露呈しており、委員を引き受けたもののどこからどう手を付けてよいか、気力を失う思いでした。

トラウマを経験した子どもは、その後の人生においても自己嫌悪、恥、怒り、慟哭などを反芻し、死の淵を歩むかのような危うい瞬間を何度も経験します。子どもの幸福の追求を目的とする法人内で起きた本事件が、人間の生きる権利を蹂躪した犯罪であるという自覚を持ち続けられるように、職員のみなさんの人権意識の向上のための提案をしています。

2022 年 11 月から 2023 年度にかけての当委員会の活動を報告します。

子ども等の人権の保護に関する委員会 2022-2023 年度活動報告書

2022 年 11 月には、旧調査委員会の甲斐田万智子委員に加えて、あらたに砂川真澄委員を迎え、本法人「子ども等の人権の保護に関する委員会」(以下、本委員会といいます)は 3 人での活動を開始しました。2022 年度の半年間は、本法人からこれまでの経緯と現状について説明を受け、現状把握に努めるとともに、主に相談体制の整備に向けた検討と職員研修の充実に向けた助言を理事会に行いました。

人権委員としての使命を果たすために、2022 年の 3 月に「性と人権のセミナー」同年「多様性プログラム」2023 年に「組織で学ぶトラウマ」など、いずれも性暴力を学び、人権意識を磨くための人権研修を実施しており、並行して王子シュール、新宿シュールの現地見学も行いました。

本法人にかかわり、当委員会を始動させようと模索するうちに時間が経過したのは主に以下の点です。

当委員会活動開始時にすでに作成されていた当委員会規程(2022 年 7 月 23 日改定)では、人権委員自らが子どもの人権侵害やハラスメントに対応し、相談業務にあたることを定める一方、施策の実施状況を委員長に報告してさらに検証する役割も課せられており、これでは施策の実施主体がその検証をすることとなり、業務内容が矛盾しています。

そこで当委員会で検討を進めた結果、2019 年 7 月 3 日付け和解条項において約束した事項を本法人が確実に履行し、利用者である子ども等に対する性暴力その他のあらゆるハラスメントを防止するために、当委員会規程の改正が必要であるとの結論に至り、規程の修正に取り組みました。

また、本法人が 2019 年 7 月 3 日付け和解条項において約束した事項を履行する責任を明確にし、被害(疑いも含む)が明らかになった場合の対応を適切に行うために、理事会に「履行と再発防止委員会」を新たに設置することを提案しました。

当委員会の提案をもとに、2023 年冬から準備会を開催し、2024 年 2 月に発足した「履行と再発防止委員会」が、同年 4 月に実施した、東京シュール大田における対応訓練に参加して、総括のために発言し、当委員会からの提案に沿った活動報告の確認を行いました。その他、研修内容や利用者対象のアンケート内容についてなど、理事会から助言を求められた事柄についてはその都度、助言や情報提供を行い、拠点のスタッフからの緊急事案に対する相談を受けています。

以上

人権委員会委員長 安藤 由紀
委員 甲斐田万智子
委員 砂川 真澄

③ 履行と再発防止委員会

・目的と業務

第 1 条 (目的)

本法人は、性暴力加害事件の被害当事者様との和解条項を誠実かつ着実に履行し続けること、ならびに今後も本法人の事業および活動に関わる子ども等への性暴力をはじめとするあらゆるハラスメントを防ぐことを目的として、子ども等の人権の保護に関する策を実施するために履行と再発防止委員会(以下、本委員会)を設置します。子ども等とは、本法人が運営するフリースクール等に在籍する子ども・若者のほか、イベント等への参加者、受託事業等の利用者、および子どもの保護者を含みます。

第 5 条 (業務)

履行と再発防止委員会は、次の通り本法人内における子ども等への人権侵害や、あらゆるハラスメントを防ぐために必要な策を実施します。

- (1) 子ども等が利用できる人権相談窓口の設置と運営

- (2) 本法人スタッフへの人権研修の実施（スタッフとはサポートスタッフ及びボランティアスタッフを含みません。）
- (3) 子ども等への定期的な性暴力予防ワークショップの実施
- (4) 相談窓口一覧リーフレットの作成・改訂と周知
- (5) 性暴力に関する書籍の各事業所へ常備
- (6) スタッフ採用時、性犯罪歴、性加害歴を確認し性犯罪歴のある者の雇用防止
- (7) ハラスメント防止規程の確認
- (8) スタッフが性加害を行ったと思われる場合、迅速で適切な措置
- (9) 被害者を保護するための必要かつ適切な措置
- (10) 本法人が運営する事業に参加する子ども・若者等を対象とした年 1 回のアンケートの実施
- (11) 施状況を理事会へ報告
- (12) その他、本法人人権委員会または理事会から意見表明・提言・助言を受けた策を実施

附則

2 第 5 条（業務）は、性加害暴力事件の和解条項を基にする。

- 委員構成：川北秀人さん（委員長）、藤井清志さん、今田万美子さん、田澤穂さん
- 委員会開催：（前掲参照）
- 委員会規程の改定および委員会決議規程の制定も 2024 年度に行いました。

④ 人事・コンプライアンス委員会

- 目的と業務

（目的）

スタッフ、子ども、保護者および東京シューレ NPO 会員が処遇、評価、配置、ハラスメントなどについて相談・申し立てができるようにするために、理事会に人事・コンプライアンス委員会を設置します。

2. 本規定で言うスタッフとは、常勤の他、非常勤、ボランティアを含みます。

3. 本規定で言う子どもとは東京シューレに所属する子ども・若者のほか、イベント等への参加者、受託事業の利用者のことを言います。

第 4 条（任務）

委員会はスタッフ、会員、保護者に対するハラスメント、人権侵害等への対応を職務とし、次のことを行います。

通報、相談の受付

通報、相談に関する調査

理事会に対する報告および、是正・改善の提案

再発防止の取り組みおよび業務体制の整備と、その実効性の検証

2. 前項①の受付の窓口は社外（外部）理事とします。

第 6 条（人事会議）

日常の人事を進めるために、委員会に人事会議（諮問機関）を設け、次のことを行います。

日常業務の進め方や体制などに対するスタッフへのヒアリング

スタッフの配置や組織全体の構成に関する方針作成と実務

採用に関する方針作成と実務

スタッフ研修の企画・運営

2. 人事会議の構成員は職員から選出された代表理事と各拠点の拠点長とし、必要に応じて委員が陪席します。

- 委員構成：川北秀人さん、山岡茂治さん、鈴木祐司さん ※山岡さん、鈴木さんの選任前は臨時委員として保護者理事を指名
- 委員会開催：5月17日、5月19日、5月29日、7月26日、9月18日、10月2日、10月21日、1月8日、2月5日
- 対応案件：4件（役職員による守秘義務違反、ハラスメントの訴え、大田地域イベント写真撮影 SNS 掲載、文化祭 THE ラスベガスイベント）
大田地域イベントでの無断写真撮影については、スタッフへの通告があり、理事会は「写真撮影に関するガイドライン」、「撮影・録音、取材・情報提供に関するガイドライン」を策定し、文化祭以後のイベントで再発防止を講じまし

た。文化祭 THE ラスベガスについては、内容の賭博性、担当スペースの予算執行の問題、実行委員会運営の在り方等について担当および事務局スタッフに通告が行われ、再発防止として経理規程の整備を行いました(24 年度施行)。

- ・ 人事会議開催と案件：6 月 28 日、7 月 19 日、9 月 6 日、9 月 20 日、11 月 8 日、2 月 6 日、3 月 12 日、3 月 18 日、3 月 28 日 案件：非常勤・常勤スタッフ採用、人事配置、スタッフ研修

⑤ 情報セキュリティ委員会

6 月 27 日に全スタッフ対象に情報セキュリティ研修を実施したほか、情報セキュリティ規程に基づく業務、マイクロソフト 365、セールスフォースデータベースの運用管理、PC 導入と廃棄等の通常業務を行いました。

⑥ スタッフ給与待遇改善委員会

委員欠員のため開催しませんでした。

5) 諸規程・ガイドライン等の整備

- ・ 人事・コンプライアンス委員会規程の改定
- ・ 子ども等の人権の保護に関する委員会規程の改定
- ・ 履行と再発防止委員会規程の制定
- ・ 団体活動全従事者の誓約書の改定
- ・ 録音、取材・情報提供に関するガイドライン制定
- ・ 宿泊行事におけるガイドライン制定
- ・ リスク管理・危機管理マニュアル（改定検討中）
- ・ 経理規程（策定検討中）

(3) 2024 年度に向けた拠点統合と事業の再編の報告

通常総会では、組織と活動存続のための経営改善と中長期計画策定に取り組むとしましたが、夏以降の議論と 12 月の臨時総会を経て、2024 年度へ向けた拠点統合と事業の再編について決定しました。

① 新宿拠点

- ・ 3 月末日をもって貸主である新宿区へ明け渡し、フリースクール活動を終了しました。
- ・ 会員保護者に向けた王子・大田のフリースクール説明会を 2 月に開催し、5 名が王子へ転籍しました。
- ・ 撤去費用に約 80 万円を要しました。新宿会員メンバーも多く手伝ってくれました。
- ・ 文書倉庫としても使用していたため、スタッフの関係者から有料で倉庫をお借りし保管文書を移管しました。

② 流山拠点

- ・ 3 月末をもって貸主に明け渡し、東京シュレーが行うフリースクール活動を終了しました。
- ・ 会員保護者向けの王子、大田説明会を新宿と同じく開催しましたが、会員の転籍はありませんでした。

③ ホームシュレー（葛飾）拠点

- ・ 3 月末をもって貸主に明渡し、ホームシュレー活動を休止しました。

④ 設備・備品等の処分

- ・ 王子または大田で活用するものは移設し、拠点明渡しとともに処分、ただし退職し独立創業するスタッフの求めによっては、2024 年度購入物品については購入価格、固定資産については簿価、その他については購入価格に耐用年数で除した額で売却する方針とし、明渡し物件をそのまま継続使用する流山については、約 71 万円（税込み）で売却しました。

⑤ スタッフの業務引継ぎと退職に伴う支出

- ・ 拠点再編に係る退職スタッフには、担務を誠意をもって引き継ぐこと、3 月末まで各拠点の活動の継続、拠点撤去の業務を求めました。
- ・ 消化できなかった有給休暇は買い取ることし、常勤 6 名（1 名は辞退）、非常勤 2 名からの申告に基づいて総額 186 万円（2024 年度予算に計上）となりました。
- ・ 退職金については、中退共加入以前の在職については、自己資金（退職給付引当金）を取り崩して 2 名総額 769 万円（2024 年度 4 月）を支払うこととし、2024 年度予算に計上します。

- 団体の情報資産の流出防止や秘密保持を目的として、また性暴力加害事件検証への今後の協力を求める退職時誓約書の提出を求めましたが、非常勤・再任用スタッフを除き、新宿、流山、ホームシューレの常勤スタッフからは提出いただけませんでした。

(4) その他運営・経営に関する取組

① 寄付・認定 NPO 法人化

- 会員・個人・団体から、年間で計 118 名 総額 2979 万 5576 円のご寄付・助成をいただきました（2024 年度以降の用途指定も含む）。多くの、保護者・関係者、企業団体からご支援をいただきましたことを感謝申し上げます。
- 年度当初、寄付・ファンドレイジングのためのチームづくりを計画しましたが、具体的な取組をはじめられませんでした。

② 認定 NPO 法人化の進捗

- 23 年 3 月に東京都へ申請を行い、9 月よりヒアリング等の作業が始まりましたが、作成書類の未整備があり 11 月に申請をいったん取り下げました。2022 年度、23 年度を対象期間として整備を進めました。
- 認定に至らなかったため、収益事業からの NPO 事業への「みなし寄付金」約 200 万円は実現しませんでした。引き続き、申請要件を満たすよう取り組んでいきます。

③ 資金調達・長期借入

- 大田ビル土地の取得の返済（2026 年度）までが資金流出が大きいため、シューレ活動の安定持続を目的に一定額を私募債（保護者・役員・スタッフ等関係者からの借入）を呼びかける計画でしたが、拠点事業の再編の検討を優先し、実施を見送りました。
- 2024 年度に、資金繰りの状況も踏まえて検討を継続することとしました。

④ 施設・設備・備品、その他固定資産

- 麻績村土地地上権の購入 2023 年度通常総会で購入の承認をいただきましたが、年度中の購入手続きが完了せず、2024 年度にずれ込むこととなりました。
- 拠点撤去に伴う付属設備・備品の除却・処分については、下記のとおりでした。
固定資産に該当するもの（税抜）：【新宿】2 項目 4 円 【流山】1 項目 109,058 円 【ホームシューレ】1 項目 154,455 円
明渡し拠点撤去に伴う廃棄物処理費用（税抜）：【新宿】740,840 円【流山】45,100 円【ホームシューレ】事業に内で計上

■ 12. 決算に関する報告

(1) 決算の概要

① 2023 年度決算（損益）の概要

- 非営利（NPO）事業における経常収益 1 億 5049 万円（予算は 1 億 6495 万円）、経常費用 1 億 5587 万円（予算は 1 億 6871 万円抑制）で収支とともに縮小、経常損益▲538 万円の赤字。
- 事業部門別で大田、ホームシューレ、奨学基金が赤字。非営利事業で本部事業及び管理費は賄えていない。
- 会員等を中心に継続的な寄付、企業・個人からの大口の寄付および助成金は 1474 万 8574 円（その他 2024 年度以降の用途指定寄付金、助成金として別途 2226 万 9150 円いただき、特定正味財産へ計上）。
- 期中スタッフ退職による人件費減、業務兼務や委託で人件費を抑制。スタッフ賞与は減給を回復（月給 3 カ月分）
- 期末退職スタッフの有休休暇買い取りおよび退職金給付は 2024 年度に計上予定。
- その他収益事業（保育所貸付）による費用は人件費・事業費を合理的に按分し、損益は経常外費用（支払利息）を含めて 961 万円の黒字。
- 非営利（NPO）事業・その他収益事業を統合した事業損益は 5,944,599 円の黒字、ただし事業外損益を加えると 1,558,639 円の赤字。
- 定款および入会金・会費規定に基づき、用途特定のない一般寄付金と NPO 入会金・年会費合計 3,528,458 円を基本金に組み入れ（収益から控除、基本金は活動目的に必要な施設の取得と整備に充当）。

② 貸借（事業損益以外のお金の出入り）の概要

- 大田土地建物の長期借入金を 1468 万円返済。
- 寄付・助成金の前受けにあたる指定正味財産に計上した金額は 27,269,150 円で、次期以降に活用。
- 退職給付引当金を取り崩し、期中退職スタッフの退職金を支給。

特定非営利活動東京シュレ 2024 年度通常総会 議案書

書式第 14 号 (法第 28 条関係)

事業報告用

2023 年度 活動計算書 (その他事業がある場合)

特定非営利活動法人東京シュレ

(単位: 円)

科目	特定非営利活動に係る事業		その他収益事業		合計
	金額	小計・合計	金額	小計・合計	
[A] 経常収益					
1 受取会費		2,980,000		0	2,980,000
NPO会員受取会費	2,980,000				
2 受取寄附金		8,074,884		0	8,074,884
受取寄附金 (一般の寄附金)	4,653,582				
受取寄附金 (特定の寄附金)	3,421,302				
ボランティア評価益					
3 受取助成金等		6,673,700		0	6,673,700
受取助成金	6,673,700				
4 事業収益		135,114,633		19,452,000	154,566,633
フリースクール 事業収益	120,279,208				
ホームエデュケーション事業収益	14,835,425				
賃貸料収益			19,452,000		
5 その他の収益		-2,353,036		0	-2,353,036
雑収益	1,175,422				
基本金組入額	-3,528,458				
経常収益計		150,490,181		19,452,000	169,942,181
[B] 経常費用					
1 事業費		96,097,922		2,349,379	98,447,301
(1) 人件費			422,093		
役員報酬					
給料手当等	82,427,240		1,555,705		
法定福利費	11,609,958		182,581		
福利厚生費	45,282		0		
退職給付費用	2,015,443		189,000		
ボランティア評価損	0		0		
(2) その他経費		45,704,609		5,771,584	51,476,193
支払報酬・講師料・研修費	467,026		156,365		
荷造運賃発送費	171,702		0		
旅費交通費	4,966,312		122,129		
通信費	1,421,096		36,005		
消耗品費・事務用品費	3,439,924		41,175		
修繕・保守料	1,174,862		378,364		
業務委託費	2,190,315		540,820		
水道光熱費	2,357,297		97,198		
地代家賃	15,526,020		0		
賃借料	910,761		34,320		
奨学基金充当金	2,199,620		0		
支払手数料	820,572		446		
租税公課	1,258,909		926,360		
減価償却・保証金償却費	3,969,644		3,347,940		
その他費用	4,207,096		88,725		
雑費	623,456		1,737		
事業費計		141,802,531		8,120,963	149,923,494
2 管理費		8,502,365		0	8,502,365
(1) 人件費					
役員報酬	3,798,840				
給料手当等	2,326,361				
法定福利費	1,197,176				
福利厚生費	4,546				
退職給付費用	1,175,443				
(2) その他経費		5,571,724		0	5,571,724
支払報酬・講師料・研修費	1,129,440				
荷造運賃発送費	95,567				
旅費交通費	277,633				
通信費	180,025				
消耗品・事務用品費	296,114				
修繕・保守料	100,236				
業務委託費	243,368				
水道光熱費	53,521				
地代家賃	1,268,184				
賃借料	346,431				
支払手数料	50,786				
租税公課	139,879				
減価償却・保証金償却費	1,158,185				
その他費用	227,377				
雑費	4,980				
管理費計		14,074,088		0	14,074,088
経常費用計		155,876,619		8,120,963	163,997,582
当期経常増減額 [A]-[B]...①		-5,386,438		11,331,037	5,944,599
[C] 経常外収益					
特別会計繰入金収益	0				
奨学基金繰入金収益	2,199,620				
固定資産売却益	34,184				
経常外収益計		2,233,804		0	2,233,804
[D] 経常外費用					
支払利息	810,478		1,714,375		
特別会計繰入金支出	0				
雑損失	835,275				
固定資産除却損	432,315				
経常外費用計		2,078,068		1,714,375	3,792,443
当期経常外増減額 [C]-[D]...②		155,736		-1,714,375	-1,558,639
経理区分振替額 ...③					
税引前当期正味財産増減額 ①+②+③...④		-5,230,702		9,616,662	4,385,960
法人税、住民税及び事業税 ...⑤			2,381,700		2,381,700
前期繰越正味財産額 ...⑥		-116,395,278			-116,395,278
次期繰越正味財産額 ④-⑤+⑥					-114,391,018

2023 年度 貸借対照表

2024年3月31日現在

特定非営利活動法人東京シュレ

(単位：円)

科 目	金 額	小計・合計
【A】 資 産 の 部		
1 流動資産		
現金預金	104,809,147	
未収金	9,463,171	
仮払金	0	
立替金	0	
前払費用	1,528,600	
預託金	45,311	
棚卸資産	0	
流動資産合計・・・①		115,846,229
2 固定資産		
(1) 有形固定資産		259,811,352
土地	91,723,840	
建物	139,596,511	
建物付属設備	23,956,593	
構築物	3,464,327	
備品	1,070,081	
(2) 無形固定資産		648,000
電話加入権	648,000	
(3) 投資その他の資産		11,794,000
保証金	11,744,000	
出資金	50,000	
固定資産合計・・・②		272,253,352
【A】 資 産 合 計 ①+②		388,099,581
【B-1】 負 債 の 部		
1 流動負債		
前受金	1,941,500	
未払金	9,008,527	
預り金	345,200	
仮受金	0	
賞与引当金	2,546,252	
未払消費税等	1,743,975	
流動負債合計・・・③		15,585,454
2 固定負債		
長期借入金	175,385,541	
役員長期借入金	6,500,000	
預り敷金	4,863,000	
退職給付引当金	9,219,824	
固定負債合計・・・④		195,968,365
負債合計 ③+④		211,553,819
【B-2】 正 味 財 産 の 部		
基本金	263,667,630	
前期繰越正味財産額	-116,395,278	
当期指定正味財産額	27,269,150	
当期正味財産増減額	2,004,260	
正 味 財 産 合 計		176,545,762
【B】 負 債 及 び 正 味 財 産 合 計 【B-1】+【B-2】		388,099,581

2023 年度 計算書類の注記

特定非営利活動法人東京シュレ

1. 重要な会計方針

計算書類の作成は、NPO法人会計基準によっています。

- (1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
棚卸資産の評価基準は、最終仕入れによる原価法によっています。
- (2) 固定資産の減価償却の方法
固定資産の減価償却の方法は、法人税の規定に基づいて定額法によっています。
- (3) 引当金の計上基準
賞与引当金は、スタッフの賞与の支給に備えるため支給見込み額のうち当期に帰属する金額を計上、
退職給付引当金は、スタッフの退職給付に備えるため、2017年度末における退職給付債務に基づき計上しています。
2018年度以降は中小企業退職金共済への加入により掛金を活動計算書に計上しています。
- (4) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理
ボランティア等による役務の提供を受けた場合は、役務の提供が常勤の場合に収益及び費用として評価し、
活動計算書に計上しています。
- (5) 消費税等の会計処理
消費税の会計処理は、税抜きによっています。

2 事業別損益の状況(内訳書)

科目	特定非営利活動事業										収益事業 認可保育所貸付 事業 小計 (C)	事業部門計 (A)+(B)+(C)	管理部門	合計			
	フリースクールの事業					ホームエデュケーション事業											
	本部事業	王子	新宿	大田	流山	東京シュレ 奨学基金	公民連携 事業	小計 (A)	ホーム シュレ	小計 (B)							
I 経常収益																	
1. 受取会費・入金																	
一般寄付金	792,016	62,596	154,340	200,000	18,360	1,987,567											
特定寄付金	4,673,700	474,706	552,302	370,484	328,643												
3. 受取助成金																	
入会金・会費等	19,062,992	19,062,992	21,982,505	12,353,973	14,197,775												
施設整備費	1,252,000	1,446,001	806,000	909,000	909,000												
講習金・補助活動事業等	58,231	890,466	2,906,003	480,244	1,192,650												
提携事業収益		0	0	0	0												
受託事業収益																	
貸借料収益	253,199	250,007	184,417	2,060	350,661												
雑収益																	
基本金組入額	5,777,146	21,992,767	27,225,568	14,212,761	16,997,089	1,987,567	42,831,837										
経常収益計																	
II 経常費用																	
1. 人件費																	
役員報酬																	
給料手当等	2,326,361	9,387,405	11,977,043	9,126,786	9,141,630												
法定福利費	1,197,176	565,742	1,303,117	1,186,636	1,545,551												
福利厚生費	4,546	2,000	12,069	0	14,546												
退職給付費用	1,175,443																
人件費計	4,703,525	9,955,147	13,292,229	10,313,422	10,701,727	0	36,320,188										
2. その他経費																	
支払報酬・講師料・研修費	57,621	114,781	34,553	19,092	0												
荷造り費・発送費	95,567	15,850	10,193	11,138	13,542												
旅費交通費	277,633	661,534	785,577	430,465	831,094												
通信費	180,025	177,688	152,639	156,630	151,590												
消耗品・事務用品費	296,114	568,817	434,296	273,887	696,383												
修繕・保守料	902,124	26,250	0	36,436	134,860												
業務委託費	2,190,315																
水道光熱費	53,521	883,967	531,689	437,390	386,097												
地代家賃	1,268,184	6,321,000	5,330,916	1,515,000	1,515,000												
賃借料・リース代	346,431	67,608	18,547	23,965													
奨学基金充当金		0															
支払手数料	457,073	31,517	32,107	22,604	39,671												
租税公課	1,258,909																
減価償却費・保証金取崩費	0	332,386	58,706	3,425,003	93,483												
その他費用	96,638	439,985	1,569,629	384,296	39,600												
雑費	44,824	148,741	96,133	80,321	230,344												
その他経費計	7,524,976	9,790,124	9,054,985	5,301,227	4,131,664	2,199,620	2,657,710										
経常経費計	12,228,501	19,745,271	22,347,214	15,614,649	14,833,391	2,199,620	38,977,603										
当期経常損益額	▲ 6,451,355	2,247,496	4,878,354	▲ 1,401,888	2,163,698	▲ 212,053	3,854,234										

単位:円

特定非営利活動東京シュレ 2024 年度通常総会 議案書

3. 使途等が制約された寄付等の内訳

使途等が制約された寄付金等の内訳（正味財産の増減及び残高の状況）は以下の通りです。
当法人の正味財産は176,545,762円ですが、そのうち2,769,150円は、下記のように使途が特定されています。

(単位：円)

内容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高
1. 特定寄付金				
① 事業運営全般	10,000,000	19,548,001	9,548,001	20,000,000
② 不登校支援・フリースクール事業		406,000	406,000	0
③ ホームエデュケーションネットワーク事業		209,723	209,723	0
④ その他の活動・イベント等		26,500	26,500	0
⑤ 東京シュレ奨学基金		2,336,202	2,336,202	0
特定寄付金計	10,000,000	22,526,426	12,526,426	20,000,000
2. 助成金				
⑥ 企業団体寄付助成金	6,673,700	7,269,150	6,673,700	7,269,150
助成金計	6,673,700	7,269,150	6,673,700	7,269,150
合計	16,673,700	29,795,576	19,200,126	27,269,150

備考

- ①フリースクールの活動に対する、個人、会員等からの寄付で、2024年度以降に指定された寄付金が含まれています。
②フリースクール・スペース活動への個人、会員からの寄付です。
③ホームシュレの活動に対する個人、会員等からの寄付です。
④特定のイベントや取り組みに対する個人、会員寄付です。
⑤個人、会員からの寄付のほか、入会入学時寄付の50%を繰り入れています。
⑥ボーイング社からの寄付助成金で、2024年度に指定された寄付金が含まれています。

4. 固定資産の増減内訳

(単位：円)

科 目	取得価額	取得	減少	前期期末帳簿価格	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
基本財産						
土地						
大田区仲六郷2丁目13-13	28,572,060			28,572,060	0	28,572,060
大田区仲六郷2丁目13-16	63,151,780			63,151,780	0	63,151,780
建物						
東京シュレ大田ビル	161,846,562			142,677,131	22,730,054	139,116,508
新宿旧若松出張所他	14,816,748		4	4	14,816,744	0
ログハウス（長野 麻績村）	24,000,000			720,002	23,519,997	480,003
建物付属設備						
東京シュレ大田ビル	40,211,593			26,079,348	16,812,558	23,399,035
構築物						
外構工事	5,847,770			3,856,126	2,383,443	3,464,327
備品						
ネットワーク機器等	1,066,159			295,425		155,217
大田 ゲーミングパソコン GALLERIA		157,528			36,100	121,428
その他の固定資産						
建物						
新宿旧若松出張所他	22,221,240		4	4	22,221,236	0
建物付属設備						
王子 コーエイビル 空調設備等	2,327,625			9,008	2,323,116	4,509
〃 玄関、ロッカー設置	1,954,800			445,230	1,660,049	294,751
〃 屋上手摺工事等	166,000			103,750	83,000	83,000
〃 照明器具取替工事	229,000			190,643	53,700	175,300
流山 グローリアル 照明器具	131,000		109,058		21,942	0
工具器具備品						
王子 ベルビックビル パーティション工事	851,221			435,099	643,840	207,381
王子 コーエイビル ネットワーク機器	642,500			273,063	433,687	208,813
〃 給湯器	189,972			1	189,971	1
〃 照明器具等	408,762			291,909	144,239	264,523
〃 看板	496,800			277,380	269,100	227,700
本部 耐火金庫	181,749			101,481	89,355	92,394
ホームシュレ エアコン工事	359,680		154,455		205,225	0
世田谷 舞台	1,070,820			1	1,070,819	1
その他備品	2,142,940			4	2,142,936	4
投資その他の資産						
電話加入権	648,000			648,000	0	648,000
保証金						
王子 コーエイビル				12,744,000	1,000,000	11,744,000
流山 グローリアル			120,000			0
ホームシュレ拠点 東風ビル			90,909			0
出資金						
瀧野川信用金庫 西ヶ原支店	50,000			50,000	0	50,000
合計	373,584,781	157,528	474,430	280,921,449	112,851,111	272,460,735

5. 借入金の増減内訳

(単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
長期借入金				
瀧野川信用金庫 土地購入	13,270,000		3,960,000	9,310,000
" 建築費用	173,295,014		10,719,473	162,575,541
役員借入金	0	6,500,000		6,500,000
その他（会員、スタッフ、協力者）借入金	0	3,500,000		3,500,000
合計	186,565,014	10,000,000	14,679,473	181,885,541

6. 役員及びその近親者との取引の内容

(単位：円 1件100万円を超える取引)

科目	財務諸表に計上された金額	内、役員との取引	内、近親者及び支配法人等との取引
(貸借対照表) 役員借入金	6,500,000	4,500,000	

7. その他特定非営利活動法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

(1) 事業費と管理費の按分方法

実態に合わせて、合理的と考えられる配賦基準によって事業費と管理費を按分しています。

(2) 退職職員への支給に係る事項

退職給付費用には、期中定年退職職員への退職金手当及び中小企業退職金共済への掛金が計上されています。

2023年度末日退職職員への退職給付債務に基づく退職金の支給は、2024年度退職金手当に計上します。

2023年度末日に退職職員の有給休暇買い取りは、2024年度給与手当に計上します。

(3) その他の事業に係る資産の状況

基本金組入額についてNPO会員入会金及び会員・支援会員年会費、用途指定のない寄付金を基本金に組み入れています。内訳は下記の通りです。

基本金計算書

2023年4月1日～2024年年3月31日

単位：円

事項	要組入高	組入高	未組入高
I 前期繰越高	332,714,269	250,795,590	63,231,515
II 当期組入額			
NPO入会金・会費収入高	2,980,000	2,980,000	
一般寄付収入高	548,458	548,458	
	3,528,458	3,528,458	0
III 当期取崩額	0	0	
IV 当期末残高	336,242,727	254,324,048	63,231,515

【基本金に組み入れの対象】

1. 収益控除分（定款規定に基づくNPO入会金・会費および用途指定のない一般寄付金）
 2. 基本財産取得分（理事会決議により2016年度まで）
 3. 基本財産を借入金にて取得した場合、当該借入金の返済額分（理事会決議により2016年度まで）
- 注）上記、2、3の組み入れについて、理事会決議により2017年度より組み入れを行わないと変更した。

特定非営利活動東京シュレ 2024 年度通常総会 議案書

書式第 17 号 (法第 28 条関係)

事業報告用

2023 年度 財産目録

2024年3月31日現在

特定非営利活動法人東京シュレ

(単位：円)

科	目	金額	小計	合計
【A】資産の部				
1 流動資産				
現金預金	手元現金 三菱UFJ銀行王子支店普通預金 みずほ銀行王子支店普通預金 瀧野川信用金庫西ヶ原支店普通預金 ゆうちょ銀行振替口座 瀧野川信用金庫西ヶ原支店定期積金 瀧野川信用金庫西ヶ原支店定期預金	213,855 40,378,022 3,896,098 16,678,042 920,980 5,590,000 37,132,150	104,809,147	
仮払金		0	0	
未収金	フリースクール事業未収金 世田谷受託事業未収金	1,629,335 7,833,836		
立替金			9,463,171	
前払費用	コーエイビル 4月分家賃 スタッフ4月～9月分通勤定期代 その他	825,000 630,600 73,000	1,528,600	
預託金	Syncable取扱い寄付金等	45,311	45,311	
流動資産合計・・・①				115,846,229
2 固定資産				
(1) 有形固定資産				
土地	大田仲六郷2丁目13番13 大田仲六郷2丁目13番16	28,572,060 63,151,780	91,723,840	
建物	大田 東京シュレ大田ビル 長野 ログハウス	139,116,508 480,003	139,596,511	
建物付属設備	大田 東京シュレ大田ビル 躯体部分設備等 王子 コーエイビル 空調設備等	23,399,033 557,560	23,956,593	
構築物	大田 東京シュレ大田ビル 外構工事	3,464,327	3,464,327	
什器備品	大田 東京シュレ大田ビル ネットワーク機器等 大田 ゲーミングパソコン 王子 コーエイビル ネットワーク機器 王子 コーエイビル 看板,照明器具等 本部 耐火金庫他 その他備品	155,217 121,428 208,814 492,225 92,394 3	1,070,081	259,811,352
(2) 無形固定資産				
電話加入権		648,000	648,000	648,000
(3) 投資その他の資産				
保証金	王子 コーエイビル	11,744,000	11,744,000	
出資金	瀧野川信用金庫西ヶ原支店	50,000	50,000	11,794,000
固定資産合計・・・②				272,253,352
【A】資産合計 ①+②				388,099,581
【B-1】負債の部				
1 流動負債				
前受金	フリースクール事業会費等 東京シュレ大田ビル 1階、2階家賃	158,400 1,783,100	1,941,500	
未払金	南武州工業 新宿拠点廃棄物処理 花森商店 倉庫家賃 機ハビネス 流山拠点廃棄物処理 NTT電話料金 2月、3月 3月分社会保険料 3月分給与 3月分サポートスタッフ給与と通勤費 その他	740,850 80,414 45,100 111,872 849,552 5,393,688 1,605,894 181,157	9,008,527	
預り金	源泉徴収税等	345,200	345,200	
仮受金		0	0	
賞与引当金		2,546,252	2,546,252	
未払消費税		1,743,975	1,743,975	
流動負債合計・・・③				15,585,454
2 固定負債				
長期借入金	瀧野川信用金庫西ヶ原支店 土地購入資金 瀧野川信用金庫西ヶ原支店 建設資金 役員借入金 その他	9,310,000 162,575,541 6,500,000 3,500,000	181,885,541	
預かり敷金	東京シュレ大田ビル敷金	4,863,000	4,863,000	
退職給付引当金	2017年度末までのスタッフの退職給付金	9,219,824	9,219,824	
固定負債合計・・・④				195,968,365
【B-1】負債合計 ③+④				211,553,819
【B-2】正味財産合計 【A】-【B-1】				176,545,762

■ 13. 監査報告

監 査 報 告 書

特定非営利活動法人東京シューレ 代表理事 殿

私は、特定非営利活動法人東京シューレ定款第22条に基づき、貴法人の第25期事業年度（自令和5年4月1日至令和6年3月31日）の決算報告書、すなわち特定非営利活動及びその他の収益活動に係る活動計算書、基本金計算書、貸借対照表並びに財産目録について監査を行った。私は、上記の決算報告書が NPO 法人会計基準に準拠して、当該決算報告書に係る期間の財政状態及び収支の状況を、全ての重要な点において適正に表示しているものと認める。

令和6年5月10日

監 事

所野愛建 

監査報告書

特定非営利活動法人東京シューレ 代表理事 川北秀人、藤井清志、浅岡佑輔 殿

私は、2023年4月1日から2024年3月31日までの特定非営利活動法人東京シューレの事業運営について監査を行いました。その結果、法人の目的に沿って運営されているものと認めます。

そのうえで、以下のとおり付帯意見を申し述べます。

2023年度は通常総会后、複数人の職員の退職意向が示されたことは大変遺憾に思う。それにより、2024年度以降の組織及び事業の運営が危機的状況に陥ることが予見された。約半年という限られた時間の中で、今後をどうしていくか子どもたちと共に考えるという本法人の姿勢を貫いたことを評価し、代表理事および理事は深夜に及ぶ頻回なる会議を重ね、新体制での新年度を迎えられたことには感謝を申し上げます。拠点統合による子どもたちへの影響を今後も注意深く見守っていただきたい。

一方で、ログハウスシューレ性暴力加害事件については臨時総会の際、事前の伝達に努力したことは評価するが、臨時総会までの期間が短く、結果、被害当事者様に多大なご負担をおかけしたことに関して反省を促したい。

裁判和解事項の履行と再発防止の具体的な仕組みづくりについては、引き続き真摯に取り組むことを強く望む。

以上のとおり、報告いたします。

2024年5月22日

監事 中島 泉 

2024 年度（第 26 期）の重点目標と基本計画

重点目標

〔重点目標 1〕 子ども中心・子ども参画・子どもの権利の学びを深めていく

- ① シュールにおける「子ども主体」「子ども参画」（「子どもが創る、子どもと創る」）の根幹に立ち返り活動を作っていく。そのため、子ども・保護者との対話を深め、スタッフ研修なども行いながらその実現に取り組んでいく。
- ② 活動（プログラム等）を通し、子ども自身が持っている権利や、自身の性について、触れ、学ぶ機会をしっかりとつけていく。
- ③ スタッフ・ボランティア・講師はともに連携を深め、子どもたちの主体性を大切にし、個性や興味関心が活かせるような活動内容（プログラム作り）が実現するよう活動を支えていく。
- ④ 子どもたちの成長に合わせた学び・体験の場を創り、自己実現、達成感、自己肯定感を培っていただける活動を作っていく。

〔重点目標 2〕 性暴力加害事件と再発防止の取り組み

- ① 2024 年 2 月に発足した「履行と再発防止委員会」が実務を担い、被害当事者の方との和解条項の履行および再発防止の取り組みを着実に推進する。
- ② 新たに履行と再発防止委員会による通報相談窓口を設置し、運用を開始する。
- ③ 相談窓口一覧リーフレットを改訂し、会員への周知・学習に努める。
- ④ 通報相談窓口に通報が入った際の様々な事例を想定した「通報対応訓練」を定期的実施する。
- ⑤ 子どもの声・SOS を見逃さないために、宿泊イベントの毎に参加者を対象に、また年 1 回、全会員対象に、アンケートを実施する。
- ⑥ 子どもたちの安全を確保するための必要かつ適切な措置のための予備費を計上する。
- ⑦ 被害当事者の方の意向を踏まえた第三者調査検証委員会の立ち上げ・運営に向けて準備を進める。

〔重点目標 3〕 子ども達が安心して過ごせる居場所を守り続けるために最適なスタッフ体制を優先し、組織と経営体制の整備を行う

- ① 経営回復を視野に入れながらも、まずは今繋がっている子ども達が安心して活動できる居場所創りを優先し、最善のスタッフ（常勤・非常勤・ボランティア）体制・人員配置を行う。
- ② スタッフの心理的安全と働きやすい条件の確保に努め、フリースクールおよび多様な学びの担い手として意欲と志を持って取り組んでいける機会や研修を計画的に推進する。
- ③ 利用者だけでなく、社会からの信頼回復に努め、やがて一人でも多くの方に応援していただけるような団体となるべく、再発防止の取組等を進める。
- ④ 子ども参加を原則とした保護者・スタッフ・外部による民主的な組織運営、情報開示・組織の見える化・コンプライアンス重視、公益性を高めるなど、組織基盤整備を促進する（理事の補充、外部・第三者知見の担保尊重、組織ルール整備、認定 NPO 化）。
- ⑤ 会員数と事業規模に適った持続可能なフリースクール運営のために、王子スペースのフロア縮小と次いで早期移転の実行、事業収入の不足をカバーする寄付等の資金あつめにより、経営基盤の改善を図る。

特定非営利活動東京シュール 2024 年度通常総会 議案書

2024年度活動予算書

(単位：円)

科目	特定非営利活動に係る事業		その他収益事業		合計
	金額	小計・合計	金額	小計・合計	
【A】 経常収益					
1 受取会費		2,000,000		0	2,000,000
NPO会員受取会費	2,000,000				
2 受取寄附金		8,950,000		0	8,950,000
受取寄付金（一般の寄付金）	0				
受取寄付金（特定の寄付金）	8,950,000				
ボランティア評価益					
3 受取助成金等		7,269,000		0	7,269,000
受取助成金	7,269,000				
4 事業収益		83,635,000		19,452,000	103,087,000
フリースクール 事業収益	83,635,000				
ホームエデュケーション事業収益	0				
賃貸料収益			19,452,000		
5 その他の収益		-1,773,000		0	-1,773,000
雑収益	227,000				
基本金組入額	-2,000,000				
経常収益計		100,081,000		19,452,000	119,533,000
【B】 経常費用					
1 事業費					
(1) 人件費		68,453,000		4,326,000	72,779,000
役員報酬			500,000		
給料手当等	57,344,000		3,121,000		
法定福利費	9,677,000		305,000		
福利厚生費	272,000		0		
退職給付費用	1,160,000		400,000		
ボランティア評価損	0		0		
(2) その他経費		29,305,000		5,297,000	34,602,000
支払報酬・講師料・研修費	404,000		140,000		
荷造運賃発送費	37,000		0		
旅費交通費	3,047,000		72,000		
通信費	811,000		20,000		
消耗品費・事務用品費	2,246,000		20,000		
修繕・保守料	1,262,000		250,000		
業務委託費	0		0		
水道光熱費	1,390,000		120,000		
地代家賃	8,545,000		0		
賃借料	361,000		16,000		
奨学基金充当金	1,000,000		0		
支払手数料	541,000		1,000		
租税公課	1,170,000		930,000		
減価償却・保証金償却費	3,304,000		3,350,000		
その他費用	2,351,000		66,000		
雑費	2,836,000		312,000		
事業費計		97,758,000		9,623,000	107,381,000
2 管理費					
(1) 人件費		18,061,000		0	18,061,000
役員報酬	4,500,000				
給料手当等	5,016,000				
法定福利費	539,000				
福利厚生費	0				
退職給付費用	8,006,000				
(2) その他経費		7,915,000		0	7,915,000
支払報酬・講師料・研修費	2,119,000				
荷造運賃発送費	14,000				
旅費交通費	1,055,000				
通信費	258,000				
消耗品・事務用品費	682,000				
修繕・保守料	92,000				
業務委託費	0				
水道光熱費	69,000				
地代家賃	1,045,000				
賃借料	221,000				
支払手数料	55,000				
租税公課	130,000				
減価償却・保証金償却費	1,240,000				
その他費用	644,000				
雑費	291,000				
管理費計		25,976,000		0	25,976,000
経常費用計		123,734,000		9,623,000	133,357,000
当期経常増減額【A】-【B】…①		-23,653,000		9,829,000	-13,824,000
【C】 経常外収益					
奨学基金繰入金収益	0				
経常外収益計		0		0	0
【D】 経常外費用					
支払利息	1,000,000		1,900,000		
固定資産除却損	0				
特別会計繰入金支出	0				
予備費	2,350,000				
固定資産除却損	433,000				
経常外費用計		3,783,000		1,900,000	5,683,000
当期経常外増減額【C】-【D】…②		-3,783,000		-1,900,000	-5,683,000
経理区分振替額…③					
税引前当期正味財産増減額①+②+③…④		-27,436,000		7,929,000	-19,507,000
法人税、住民税及び事業税…⑤			3,760,000		3,760,000
前期繰越正味財産額…⑥	-114,391,018				-114,391,018
次期繰越正味財産額④-⑤+⑥					-137,658,018

2023 年度の役員体制

役職	立場・職務	氏名	備考
代表理事	職員（スタッフ）	浅岡佑輔	本部・大田シュールスタッフ 2024 年 6 月退任
代表理事	保護者	藤井清志	王子シュール元保護者、履行と再発防止委員
代表理事	社外（外部）	川北秀人	履行と再発防止委員長、人事・コンプライアンス委員長 I I H O E [人と組織と地球のための国際研究所] 代表者 (般社) ソーシャルビジネス・ネットワーク 理事 (公財) 日本自然保護協会 評議員 (般財) 日本民間公益活動連携機構 (J A N P I A) 評議員 (特) 自然体験活動推進協議会 (C O N E) 監事
理事	職員（スタッフ）	野村芳美	大田シュールスタッフ・保護者、不登校を考える親の会・大田代表
理事	職員（スタッフ）	原野有理	2023 年 12 月退任
理事	保護者	仲間友洋	大田シュール会員保護者、人事・コンプライアンス委員
理事	社外（外部）	山岡茂治	情報セキュリティ委員、人事・コンプライアンス委員 みらいこ（株）代表取締役社長 （一社）未来の大人応援プロジェクト 理事 2023 年 12 月就任
理事	社外（外部）	鈴木祐司	人事・コンプライアンス委員 東京シュール O B、(公財) 地域創造基金さなぶり専務理事・事務局長 2023 年 12 月就任
理事	社外（外部）	喜多明人	2023 年 12 月退任
監事	会計の監査	紙野愛健	公認会計士・税理士
監事	業務活動の監査	中島泉	ホームシュール元保護者、元理事

注) 2024 年度通常総会にて、職員（スタッフ）理事として今井睦子、今田万美子の 2 名が補充選任され、2024 年 7 月より今井睦子が職員代表理事に就任しました。